

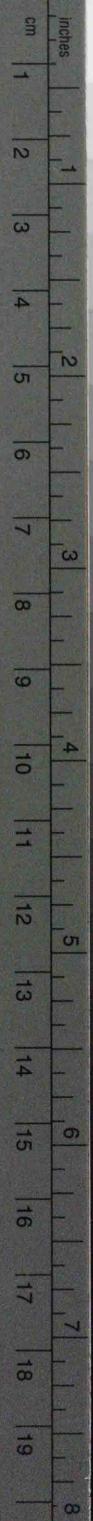
42734

教科書文庫

4
290
31-1931
20000
41901

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

**Kodak Color Control Patches**

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

中華小學地理書 卷一
文部省



3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

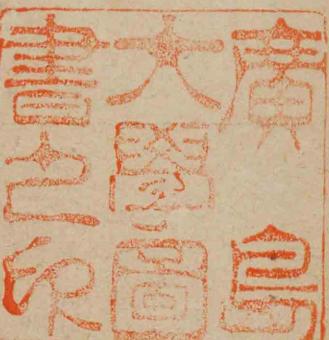
資料

378.9
M014



文部省

尋常小學地理書 卷一



目錄

第一 日本	一	二 地勢・氣候	五 十	第七 四國地方	百十四
第二 關東地方	八	三 產業	六十二	一 區域	百十五
一 區域		四 交通	七十	二 地勢	百十五
二 地勢		五 都邑	七十四	三 產業	百十六
三 產業		六 伊豆七島・小笠原諸島	二十三	四 交通	百二十
四 交通		七 二十九		五 都邑	百二十一
五 都邑		八 三十		六 伊豆七島・小笠原諸島	二十九
六 伊豆七島・小笠原諸島	二十三	九 三十一		七 近畿地方	七十七
七 二十九		十 三十八		八 中國地方	八十五
八 三十		十一 四十四		九 九州地方	百二十二
九 三十一		十二 五都邑	九十五	十 九州地方	百二十三
十 三十八		十三 三產業	百三	十一 四國地方	百三十一
十一 四十四		十四 二地勢	百三	十二 國方	百三十七
十二 五都邑	四十八	十五 三產業	百三	十三 關東地方	百四十
十三 五都邑		十六 四交通	百三	十四 關東地方	百四十一
十四 五都邑		十七 五都邑	百三	十五 關東地方	百四十二
十五 五都邑		十八 六薩南諸島・琉球列島	百三	十六 關東地方	百四十三
十六 五都邑		十九 附錄	一	十七 關東地方	百四十四
十七 五都邑				十八 關東地方	百四十五
十八 五都邑				十九 關東地方	百四十六
十九 五都邑				二十 關東地方	百四十七
二十 五都邑				二十一 關東地方	百四十八
二十一 五都邑				二十二 關東地方	百四十九
二十二 五都邑				二十三 關東地方	百五十
二十三 五都邑				二十四 關東地方	百五十一
二十四 五都邑				二十五 關東地方	百五十二
二十五 五都邑				二十六 關東地方	百五十三
二十六 五都邑				二十七 關東地方	百五十四
二十七 五都邑				二十八 關東地方	百五十五
二十八 五都邑				二十九 關東地方	百五十六
二十九 五都邑				三十 關東地方	百五十七
三十 五都邑				三十一 關東地方	百五十八
三十一 五都邑				三十二 關東地方	百五十九
三十二 五都邑				三十三 關東地方	百六十
三十三 五都邑				三十四 關東地方	百六十一
三十四 五都邑				三十五 關東地方	百六十二
三十五 五都邑				三十六 關東地方	百六十三
三十六 五都邑				三十七 關東地方	百六十四
三十七 五都邑				三十八 關東地方	百六十五
三十八 五都邑				三十九 關東地方	百六十六
三十九 五都邑				四十 關東地方	百六十七
四十 五都邑				四十一 關東地方	百六十八
四十一 五都邑				四十二 關東地方	百六十九
四十二 五都邑				四十三 關東地方	百七十
四十三 五都邑				四十四 關東地方	百七十
四十四 五都邑				四十五 關東地方	百七十
四十五 五都邑				四十六 關東地方	百七十
四十六 五都邑				四十七 關東地方	百七十
四十七 五都邑				四十八 關東地方	百七十
四十八 五都邑				四十九 關東地方	百七十
四十九 五都邑				五十 關東地方	百七十



尋常小學地理書卷一

第一 日本

我が國の領土・四周 我が日本はアジヤ洲の東部にあつて、日本列島と

朝鮮半島から成立つてゐる。

日本列島は北東から南西へ凡そ五千キロメートルにわたつて、太平洋の中に連なつてゐる大小あまたの島々である。その中、殊に大きいのは本州・北海道・本島・樺太(南部)・四國・九州・臺灣である。小さい島島の中では九州と臺灣との間に並んでゐる琉球

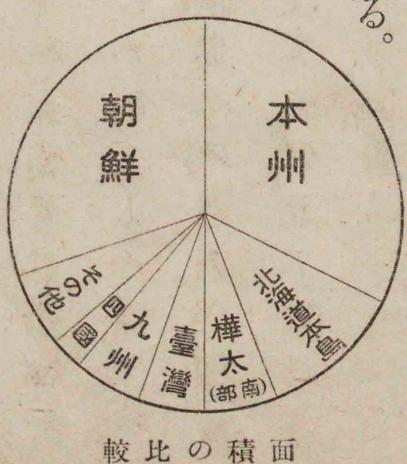
列島、北海道本島の北東に並んでゐる千島列島が主なものである。

日本列島の北東から西南西にかけてはオホーツク海・日本海・黃海・東支那海があつて、これ等の海をへだて、アジヤ大陸のシベリヤ・支那及び朝鮮がある。日本列島の南西から東にかけて太平洋の中にフィリピン群島、及びハワイ諸島、その他大洋洲の島々がある。又太平洋をへだて、東に北アメリカ洲がある。

朝鮮半島はアジヤ大陸の東部の一大半島で、北か

尋地一

面積



産業・地勢・交通

ら南にかけて長さ約一千キロメートル、北は満洲及びシベリヤにつゞいてゐる。我が國の總面積は凡そ六十

七萬五千平方キロメートル

で、本州と朝鮮半島とは各そ

の約三分の一に當つてゐる。

我が國は北東部には寒さのきびしい處があり、南西部には暑さのきびしい處がある。しかし大部分は氣候が溫和で雨量もゆたかで地味が肥えてゐる。それ故、一般に山が多く平地が少いにかゝはら

ず、種々の農産物が出来る。森林地が多いので林產物も少くない。又處々から礦產物も出る。

川は大てい狭くて短く、且流れが急で、交通上の便是少いが、灌漑や發電には利用されてゐる。近海には暖流や寒流があるので、水產物がたくさんとれる。

したがつて農業・林業・礦業・水產業がそれべく相當に發達してゐるのみならず、工業も發達し、内外各地の原料を使用して、盛に種々の工業品を造つてゐる。これと共に商業も發達して諸外國との貿易

大和民族

朝鮮人

支那民族

合割のそと別族民の民國

行きわ
たつて
るて、内

臺灣土人とその家

ある。

も盛である。又道路・鐵道・航路
も開け、郵便・電信・電話なども

外の交通が海陸共に便利である。
國民の總數は九千萬を超える。
その大部分は大和民族であ
るが、朝鮮には約二千萬の朝

行政區劃

鮮人、臺灣には支那から移住した約四百萬の支那民族と、十餘萬の土人とがある。又北海道本島には少數のアイヌ人、樺太には少數のアイヌ人とその他の土人がゐる。諸外國に移住してゐる大和民族は六十餘萬である。

行政上の便利のために、本州・四國・九州及びこれ等に屬する島々を三府四十三縣に分け、これを治め



アイヌ人とその家

るため府には府廳、縣には縣廳を置いてある。その他、北海道本島・千島列島を北海道として、こゝに北海道廳を置き、樺太には樺太廳、朝鮮・臺灣にはそれべく總督府を置いてある。

我が國にはこの外に、支那から租借してゐる關東州がある。又列國から預かつた南洋諸島がある。關東州



ヤリギとその家

を治めるために關東廳、南洋諸島を治めるために南洋廳を置いてある。

我が國の政府は東京にあつて、これ等の諸官廳を總轄してゐる。

今便宜のため、本州を關東・奧羽・中部・近畿・中國の五地方に分け、これに四國・九州・北海道・樺太・臺灣・朝鮮の各地方を加へて、全國を十一地方に分ける。

地方區劃

第二　關東地方

一　區域

東京府と神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の六縣の區域を關東地方といふ。

二　地勢



關東地方は西部から北部にかけては一帶に山地で、南部の房總・三浦の二半島には小山が多い。その他の大

高東
人立
五島



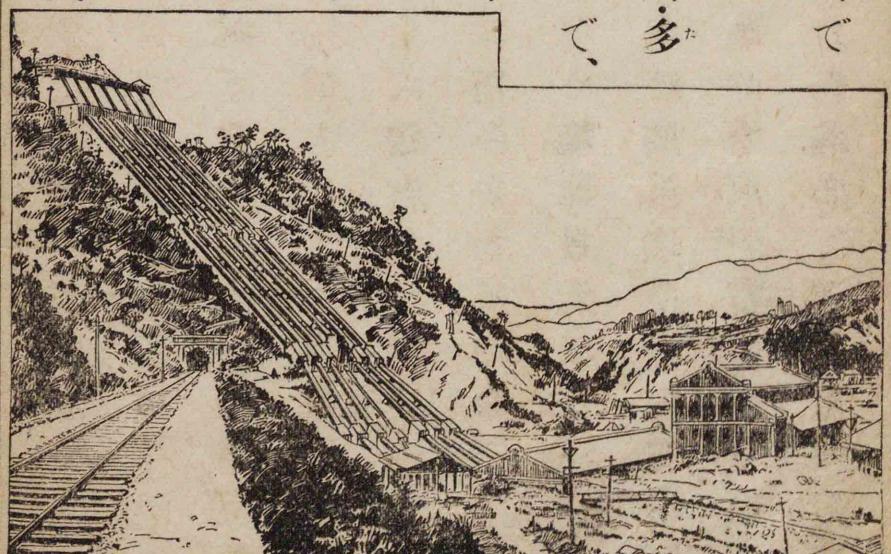
山

箱根山・芦之湖附近

川

兼ね、その名は外國へまで
も聞えてゐる。

川は那珂川・利根川・荒川・多
摩川・相模川が主なもので、
大てい上流は發電に、下
流は灌漑・運輸に利用さ
れてゐる。中でも利根川
は流域が最も廣く、下流
は霞浦や江戸川など、
航路がつゞいてゐて、汽



(るあに縣梨山) 相模川上流の發電所

海岸



霞

船も往來してゐる。我が國で水運の便の最も多い
のは實にこの川である。

水力電氣で殊に名高いのは利根
川と相模川とで、その電氣は主と
して東京に送られて電車の動力
や電燈に用ひられてゐる。

又多摩川の水は東京にひかれ、相
模川の水は横濱にひかれて、市民
の飲料水や用水となつてゐる。
この地方の南部には房總・三浦の

二半島があつて東京灣をかこんでゐる。この灣内は波がおだやかで交通の便が多く、沿岸に東京・横濱・横須賀がある。この他の部分では海岸線の出入が少く砂濱が多いので、良港は殆どない。やゝよいのは利根川の川口を利用してゐる銚子である。



銚子港

相模灣の沿岸と房總半島の海岸は氣候が溫和で風景がよく、殊に相模灣沿岸の鎌倉は歴史上にも有名な處である。

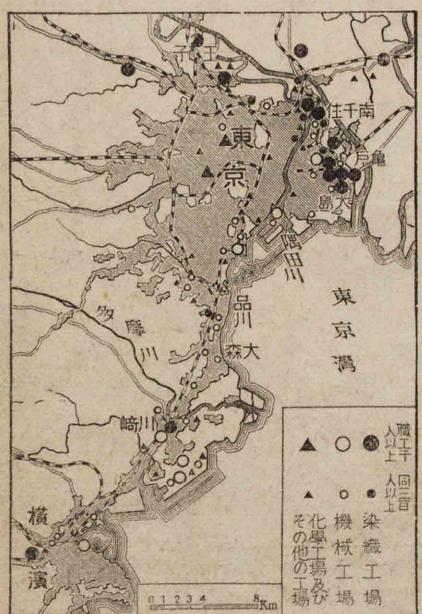
三 産業

關東平野は一般に氣候が溫和で地味も肥えてゐる。したがつて農業が大いに發達してゐる。主な農產物は米・麥・さつまいも・野菜で、中でも麥はその產額が多く、我が國の内地の麥の總產額の凡そ四分の一はこの平野から出る。この平野の北東

臺灣方地	方地鮮朝	他の方地	東關方地	畿近方地	州九方地	羽奥方地	方地部中			
				地	内					
較比の額の產米										
(年三和昭) ルトツリトクヘ萬百五千四億一約額產年										

部では煙草たばこをも産する。
關東平野の西部・北部から附近の山地
にかけては養蠶業やうしやくぎょう・製絲業が盛で、前橋まへはしは生絲の主な產地である。
又この一帯の地方には絹織物業も發

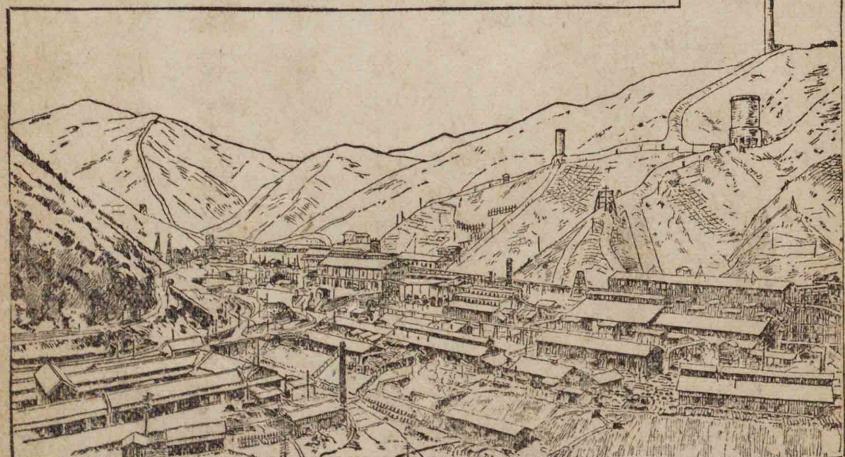
較 比 の 額 产 の 麦			
(麦燕・麦小・麦裸・麦大)			
(年三和昭) ルトツリトクヘ萬百九千五約額產年			
鮮 朝	方 地 の 他 の そ	方 地 州 九	方 地 東 關
	地	内	



るけ於に近附のそび及濱横・京東
布分の場工

較比の額産の麥
(麥燕・麥小・麥裸・麥大)
(年三和昭) ルツリトクヘ萬百九千五約額西

崎八王子秩父である。



山鑛立日

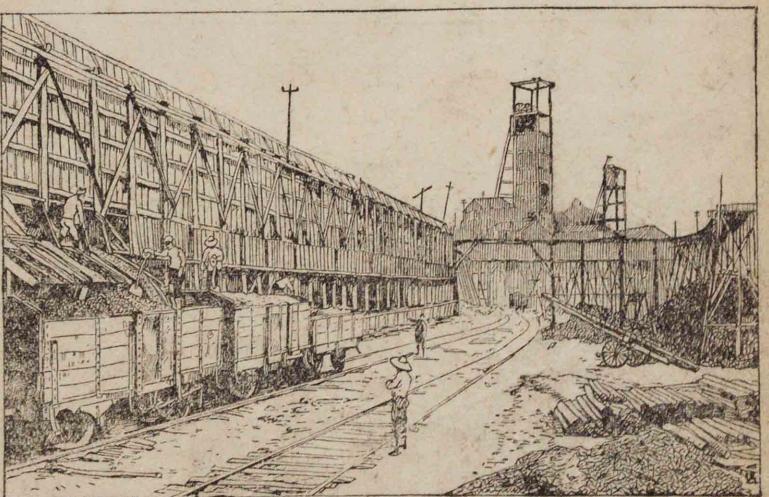
東京・横濱及びその附近は
我が國の一大工業地區を
なし、大きな工場がたくさん
あつて、綿絲・毛織物・砂糖
・麥粉・機械・洋紙・肥料・雜貨など
を製造してゐる。したが
つて東京・横濱には商業も
盛である。

鑛業

關東地方には足尾・日立の二大鑛山があつて、共に大きな製鍊所を有し、他の鑛山の鑛石をも製鍊してゐる。その製鍊高は兩鑛山とも銅が第一で、金銀も少くない。又常磐炭田は關東・奥羽兩地方に跨つてゐる炭田で、石炭の產額が多い。

水産業

近海には暖流があつて水產物が多いから漁業も



(坑炭るあに縣島福)し出積の炭石るけ於に田磐常

盛で、いわしまぐろがたくさんとれる。主な漁港は銚子である。東京灣の北部では淺瀬を利用して盛にのりの養殖をしてゐる。

四 交通

關東平野は産業の發達につれて、交通は一般に便利である。殊に東京・横濱附近は汽車・電車・自動車などの交通機關の極めて發達してゐる處で、又東京には地下鐵道もある。鐵道の主なものは東京を起點として各地に通じ、航路の主なものは横濱を起點として内外諸港に通じてゐる。

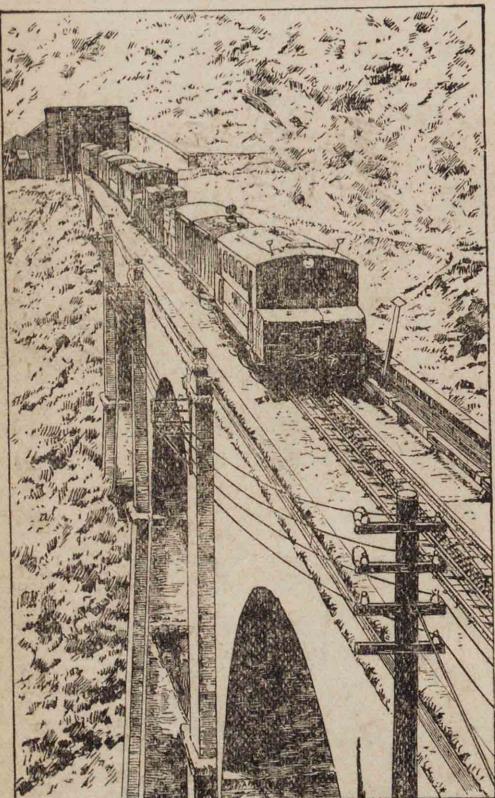
陸上の交通



京驛

東海道線は我が國主要の鐵道で、東京を起點として西に向ひ横濱・名古屋・京都・大阪を過ぎて神戸で終り、こゝで山陽線に接続してゐる。東北線は東京から北東に向ひ仙臺を過ぎて青森に達してゐる。東海道線・東北線及び山陽線は、共に本州の鐵道の幹線で、設備も最もよくとのひ、汽車の速力も最も早く、往

復回數も最も多い。この外、東京から北東部の海岸をへて奥羽地方に入り東北線と合する常磐線があり、又東京から中部地方の山地を通つて名古屋に至る中央線がある。



確水峠の鐵道

なほ大宮高崎間にには高崎線があつて東北線と信越線との連絡をとり、

信越線は高崎に起り新潟に至るものである。

東海道線や中央線や信越線が關東平野を過ぎて西部又は北部の山地を越える處にはトンネルが多い。又信越線の碓氷峠では傾斜が殊に急なので線路に歯止めを設けてゐる。

海上の交通

横濱を起點とする外國航路は南北兩アメリカ洲・支那・印度・ヨーロッパ・洲・オーストラリヤ等、世界各地の港に通じてゐる。したがつて横濱には内外國の汽船がたえず出入する。

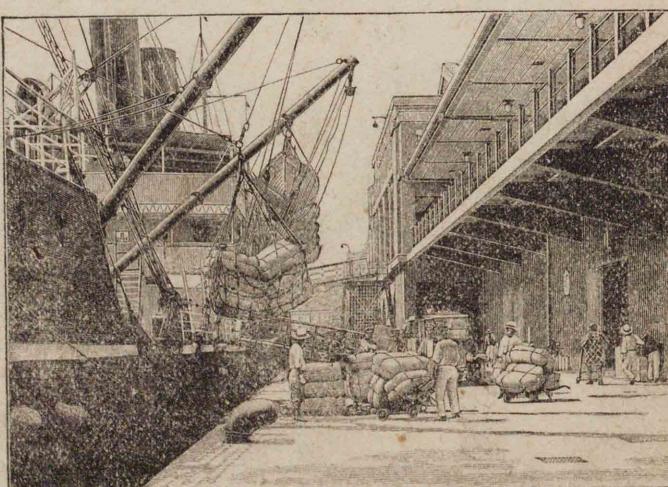
郵便・電信・電話はいづれも東京を中心として各地

通信

に通じてゐる。中でも小笠原諸島の父島に至る海底電線は、こゝでアメリカ合衆國の太平洋海底電線と接續する。

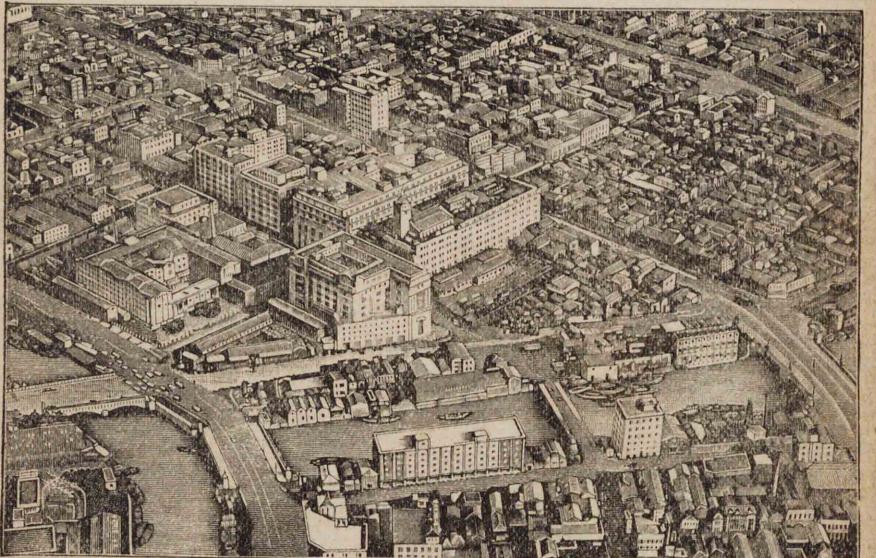
又東京無線電信局は世界に於いても有名なもので遠くアメリカ合衆國と通信してゐる。

五 都邑



(し出積の絲生) 岸船繫の港濱横

東京



關東平野は産業や交通
が盛であつて大小の都
邑が極めて多い。それ故、
關東地方には人口一萬
以上の都邑が百以上も
ある。中でも東京は近接
町村を合すれば人口凡
そ五百萬、世界屈指の大
都會である。

東京は我が國の首府で、

關東地方

荒川下流の低地から西方の臺地にわたつてゐる
都會である。宮城をはじめとして内閣・諸官省・日本
銀行など政治上、經濟上の中央機關は皆こゝに集
つて居り、帝國議會の議事堂もこゝにある。又諸外
國の大使館・公使館もこゝに置いてある。

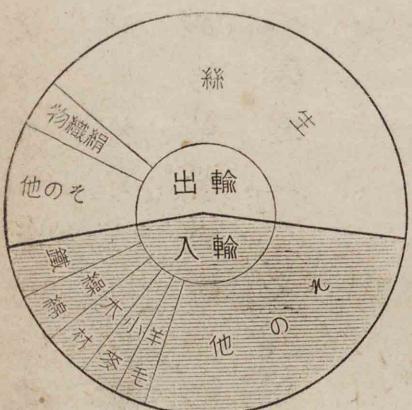
東京は又東京帝國大學、その他、各種の學校、博物館、
圖書館等が備はつて、我が國に於ける學術の中心
地であり、圖書の出版の盛なことに於いても國內
第一である。大きな銀行・會社・工場などもたくさん
にあつて、商工業が極めて盛である。

横濱

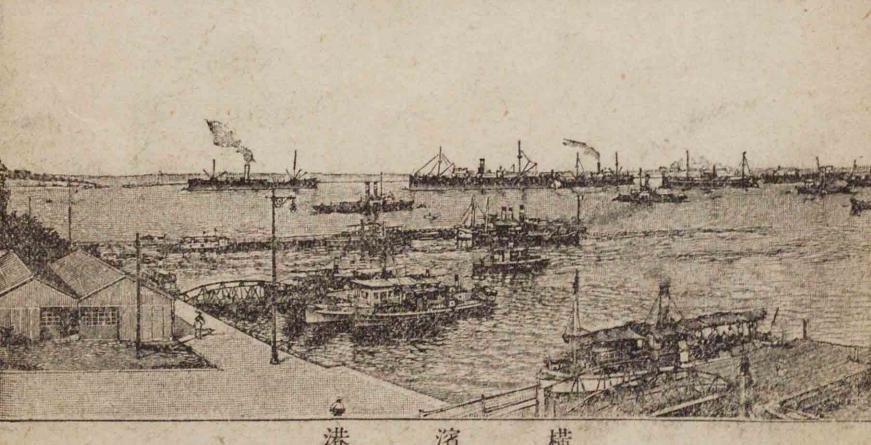
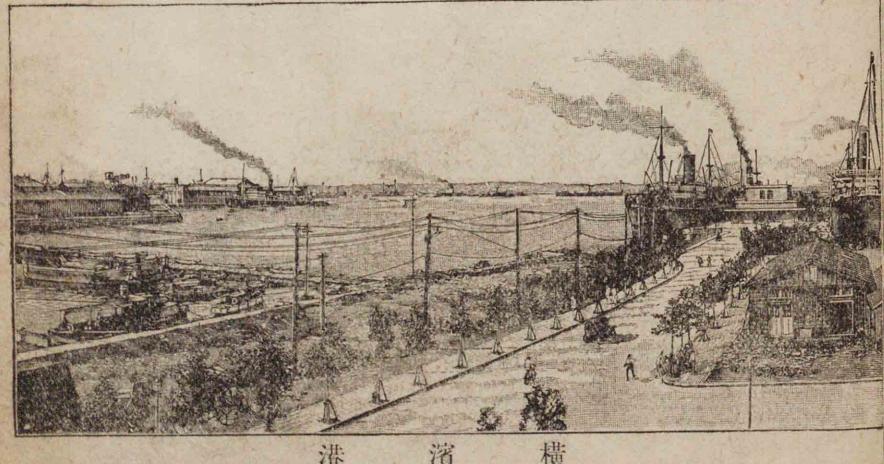
東京及びその附近には社寺や名所が少くない。神社では明治神宮・靖國神社がある。八王子の附近には大正天皇陵がある。

横濱は人口六十二萬、神戸と共に我が國の二大開港場で、その港は廣くて深く、防波堤・棧橋・繫船岸など水陸の設備がよくとゝのひ、大洋を航行

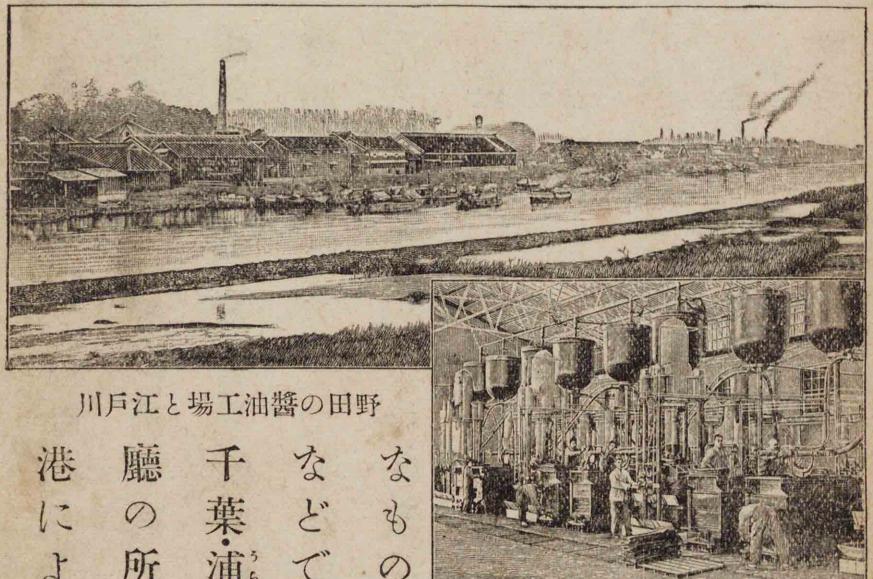
圖較比出入港濱横
(年三和昭) 圓萬千四億七約額出輸年
(年三和昭) 圓萬千一億六約額入輸年



する大きな汽船も自由に出入ることが出来る。貿易は輸出が主で、輸出額は我が總輸出額の三分の一を超えてゐる。我が國第一の輸出品た



その他



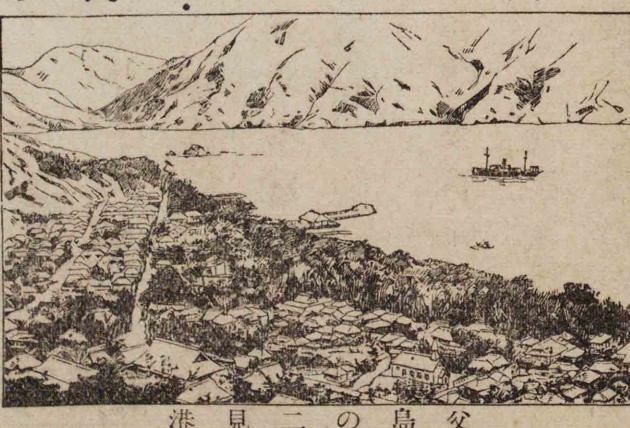
川戸江と場工油醤の田野

ら積出されて、主としてアメリカ合衆國に行くのである。なほこの港から絹織物も輸出される。輸入品の主なものは鐵・繩・綿・木材・小麥・羊毛などである。

千葉・浦和・前橋・宇都宮・水戸は縣廳の所在地である。横須賀は軍港によつて發達した處で艦船

兵器を製造する海軍の工場がある。立川は飛行場で名高く、高崎は商業地として、野田・跳子は醤油の產地として名高い。

六 伊豆七島・小笠原諸島



大島・八丈島等の伊豆七島、父島・母島等の小笠原諸島は相模灣の南に當つて南北に並んでゐる島々で、共に東京府に屬してゐる。富士火山脈に當つてゐるので火山が多く、その中で名高いのは

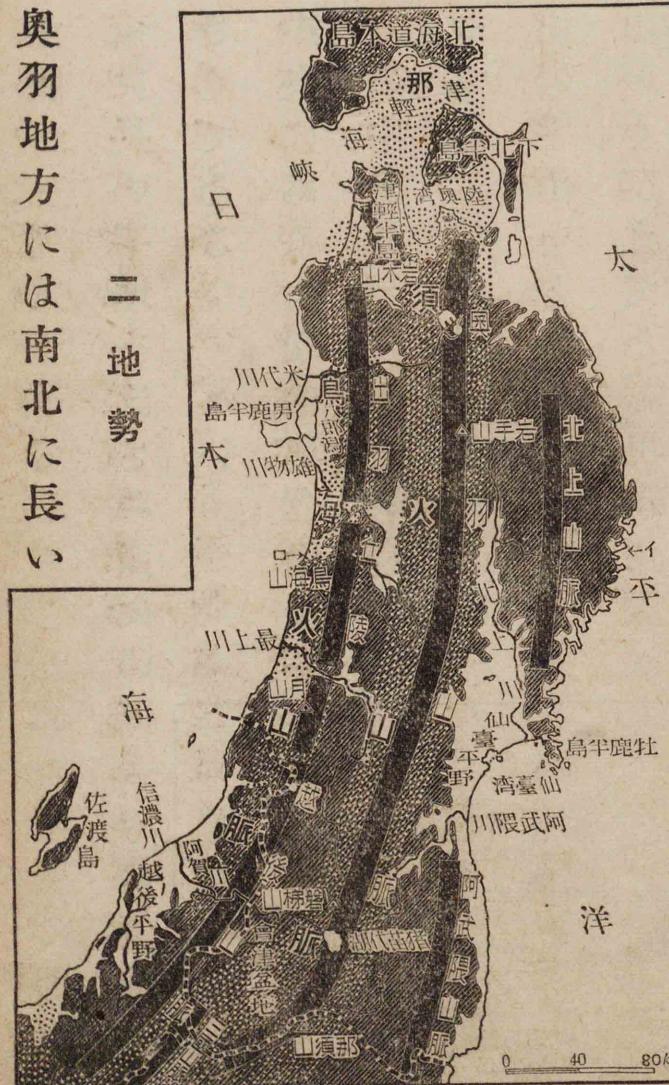
大島の三原山である。

これ等の諸島は位置が南方にある上、暖流のも受け、氣温が高く、小笠原諸島は殊に暖かで、さとうきびを産する。近海は魚類が多いので漁業が盛である。

父島の二見港は諸島中唯一の良港で、我が内地と南洋諸島との交通上大切な處である。

第三 奥羽地方

區域



奥羽地方の方勢の略圖

福島・宮城・岩手・青森・秋田・山形の六縣の區域を奥羽地方といふ。



山脈が三列になつてゐる。これ等の山脈の間には東に長い平地をはさみ、西にいくつもの盆地をはさんでゐる。

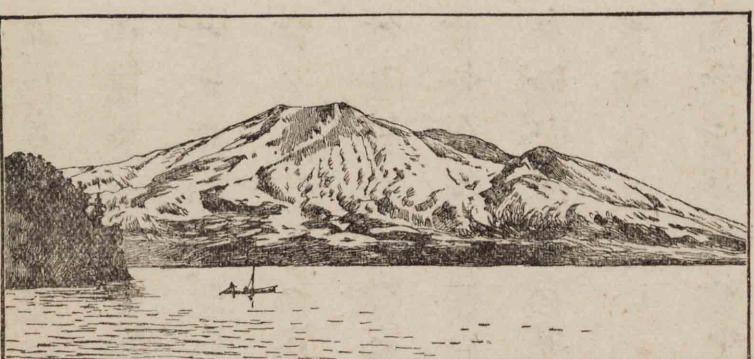
山

中央にある山脈は奥羽山脈で、その中を那須火山脈が縦に通つてゐる。那須火山脈には磐梯山・岩手山などあまたの高い火山がそびえてゐる。奥羽山脈はこれ等の高い山と共に奥羽地方の大分水嶺となつてゐる。



西にある山脈は處々で切れてゐるが、大體一系の山脈をなしてゐる。その南の部分は越後山脈といつて高いが、北の部分は出羽丘陵といつてあまり高くない。この山脈にも一つの火山脈が通つてゐて岩木山・鳥海山・月山などの火山がある。東にある山脈は仙臺灣のために南北の二つに分れ、北にあるのを北上山脈といひ、南にあるのを阿武隈山脈といつてゐる。いづれも高原状になつてゐてあまり高くない。北上山脈の南の端は牡鹿半島となつて仙臺灣の東を限つてゐる。

川



磐梯山と猪苗代湖

中央の大分水嶺から出てゐる主な川はこれ等の山脈の間にある平地を流れて、東のものは太平洋にはいり、西洋にはいる主な川は北上川・阿武隈川で、日本海にはいる主な川は米代川・雄物川・最上川・阿賀川である。

これ等の川はいづれも水運の便が少い。しかしその沿岸は陸

上交通の要路に當り、産業も盛で都邑も多い。

阿賀川の水源である猪苗代湖は、その西にある會津盆地に比べると、三百メートルも高い處にあるので、これから流れ出る水を利用して發電所が出来て居り、その電氣は主として遠く東京に送られてゐる。又猪苗代湖の水は疏水運河によつて東の方、郡山附近の平地に送られて灌漑にも用ひられてゐる。

太平洋方面の中には小さな出入が多く處々に良灣がある。けれども北上山脈が海岸にせまつてゐる。



島 松

るて、灣岸の傾斜が急であるために陸上の交通が不便である。又この山脈一帯の地方は産業が十分に發達してゐない。それ故、これ等の良灣も漁港としては利用されてゐるが、商港としてはまださほど利用されてゐない。

仙臺灣の一部には松島灣

がある。この灣内には松のしげつた大小あまたの島があつて、風景が甚だ美しい。

日本海の海岸は中央に男鹿半島や八郎潟がたがあるけれども、一般に海岸線の出入が少く、又砂濱が長くつゞいてゐるので良港がない。

北部には下北・津輕の兩半島があつて陸奥灣をはさんでゐる。陸奥灣の沿岸には商港の青森や海軍の要港の大湊おほみなとがある。下北・津輕の兩半島と北海道本島との間には津輕海峡かいきがある。この海峡は交通上大切な處である。

三 産業

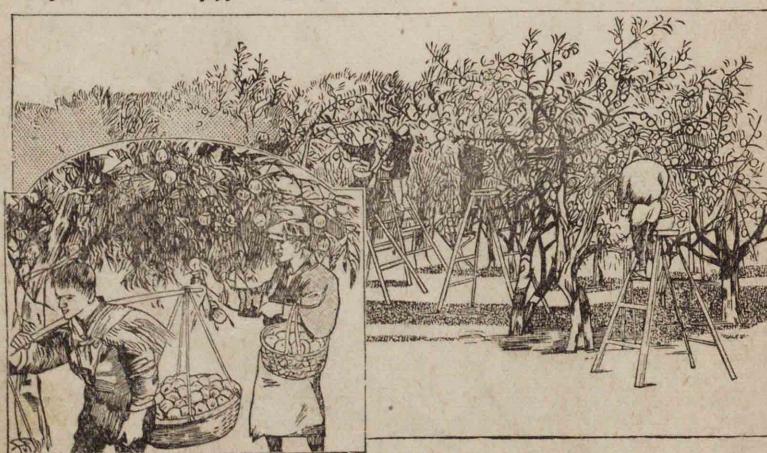
この地方第一の産業は農業であるが、耕地が割合に少く、その上、この地方は氣温が一般に低いから農産物の產額が少い。しかし山林・原野が殊に多いので林業・牧畜は盛である。又鑛物が多いので處々でこれを採掘してゐる。

農業・工業

主な川々の沿岸の平地には農業が發達してゐる。農産物の中、米は最も主なもので、その主產地は最上川や雄物川沿岸の平地と仙臺平野とである。又大豆・じやがいもりんごもその產額が少くない。り

んごの主產地は弘前^{ひろさき}の附近である。

阿武隈川の流域や最上川上流の流域では養蠶業が廣く行はれてゐて、製絲業・絹織物業もまた盛である。殊に阿武隈川の沿岸の福島やその附近では生絲や羽二重^{は二重}が多く出来る。又最上川上流の沿岸にある米澤^{よねざわ}では絹織物が多く出来る。



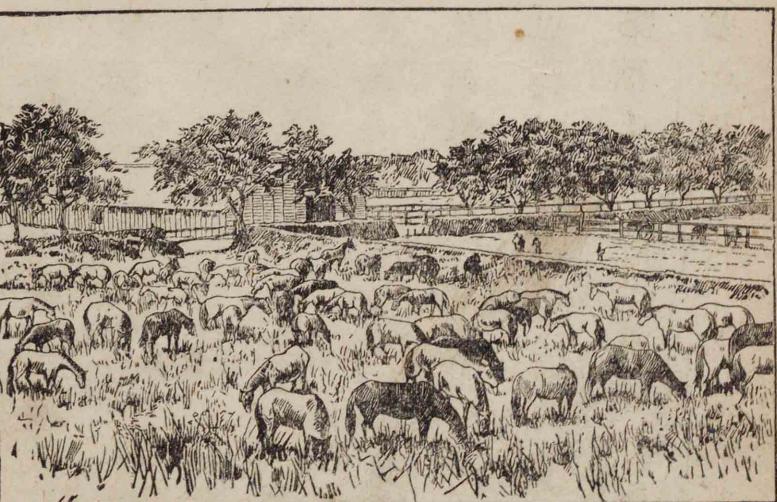
集採のこんり

牧畜

太平洋方面には原野が多いので馬の牧畜が盛である。盛岡や白河には秋毎に馬の大市おほいちが開かれて、各地からたくさん馬が集まつて来る。

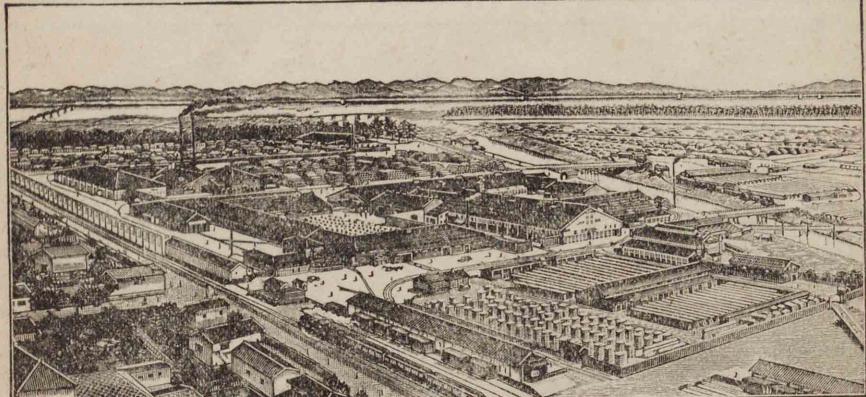
林業

日本海方面には山林が多く、殊に米代川の流域には杉の大森林がある。こゝから出るたくさんの木材は川や鐵道によつて各地



白河附近の牧場

鑛業



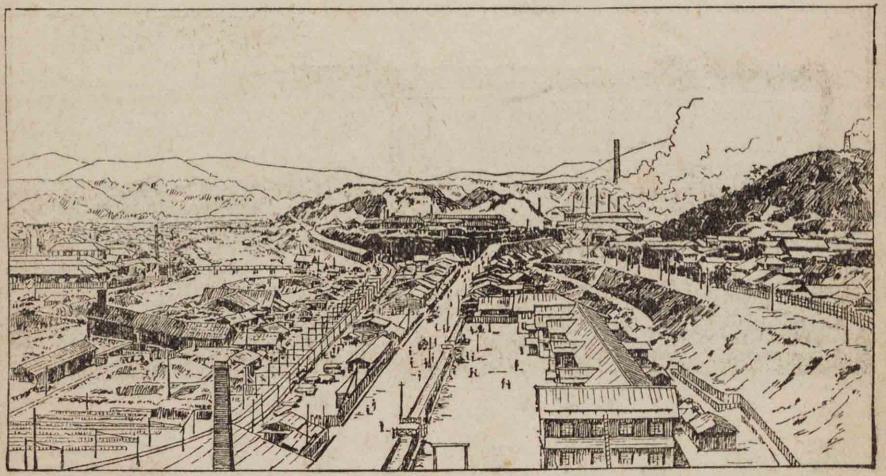
能代港にあらわす材製所

に送られる。したがつてこの川の沿岸では製材業が處々で行はれ、その中で米代川の川口に近い能代港のしろが最も盛である。

米代川の流域と雄物川の流域には銅や銀を産する鑛山が多く、殊に小坂さか鑛山は我が國屈指の大鑛山で

馬の頭數の比較
(昭和三年) 約百十六萬頭の総數

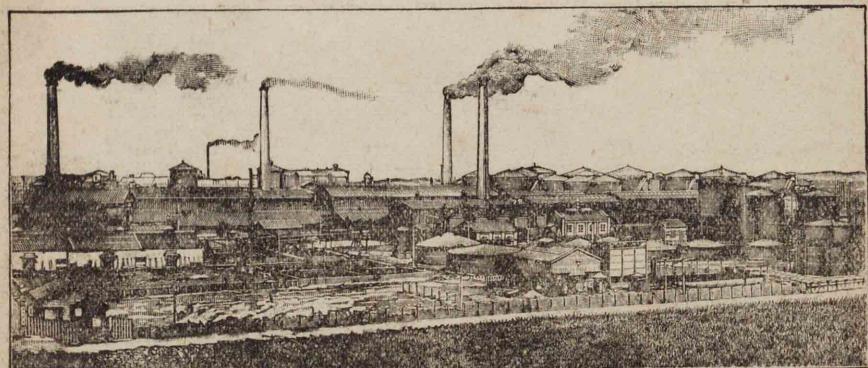
奥羽地方	九州	北陸地方	東北地方	中部地方	その他
160,000	100,000	80,000	70,000	50,000	30,000



山坂鑛

ある。この外、釜石附近には
油田があり、平附近には炭
田がある。釜石附近の鐵山
は我が内地で鐵鑛の產額
の最も多い處で、その鑛石
は大てい釜石の製鍊所で
製鍊される。秋田附近の油
田は石油の產額の多いこ
とでは、新潟縣の油田と一

水産業



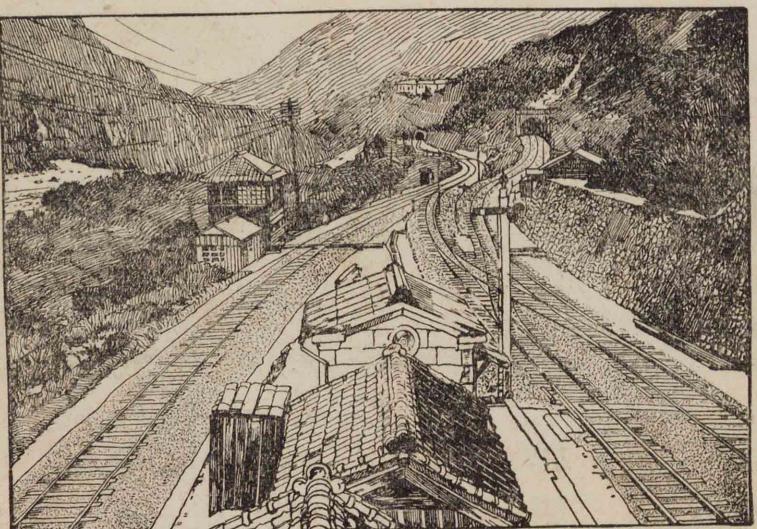
所 油 製 港 崎 土

二を争つてゐるもので、その石
油は主に土崎港にある製油所
で精製される。平附近の炭田は
常磐炭田の北の部分である。
太平洋方面の近海・遠洋は水產
物が多く、又海岸は漁船の出入
に便利であるから漁業が盛で
ある。漁獲高の多いのはいわし
かつを鯨である。又この海岸地
方ではかつをぶし、いわしのし

め柏がたくさん出來る。

四 交通

陸上の交通



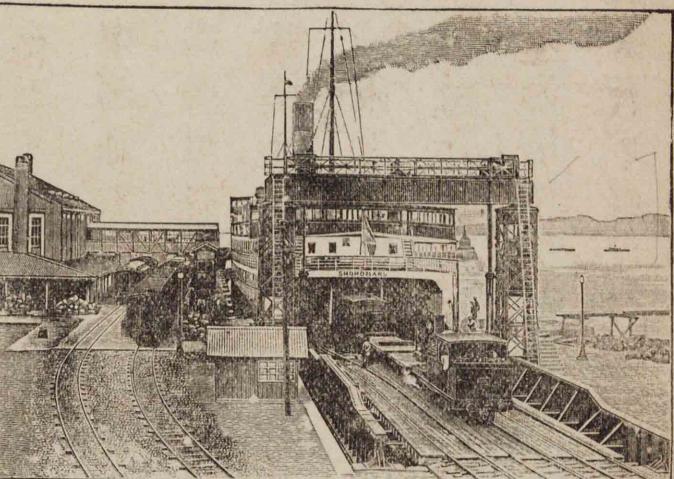
奥羽線の奥羽山脈を横する一の線部

主な鐵道には南北に通ずるものと東西に通ずるものがある。南北に通ずるものは太平洋方面にある東北線、日本海方面にある奥羽線・羽越線である。東北線・奥羽線はいづれもこの地方の主

な川の沿岸平地をつたはつて大きい町々の連絡をとつてゐる。羽越線は奥羽線と信越線との連絡をとるのである。

東北線は本州の鐵道の幹線の一部分であつて、阿武隈川の下流の流域で常磐線と出會ひ、奥羽地方第一の都會たる仙臺に至り、北上川にそつて進み、盛岡をへて青森に至る。奥羽線は福島に起つて奥羽山脈を横ぎり、最上川の沿岸の米澤・山形、雄物川の沿岸の秋田をへて青森に達する。この線が奥羽山脈を横ぎる處にはトンネルが多く、又傾斜が急

である。



青森と北海道本島の函館
との間には鐵道連絡船が
往來して、東北・奥羽の兩線
と北海道本島の鐵道との
連絡をとつてゐる。

東西に通ずる主な鐵道は
平から郡山・若松をへて新
潟に至る磐越線と、石卷(いしのまき)から酒田(さかた)に至る陸羽線と
である。磐越線は常磐線・東北線・羽越線・信越線と連

絡して居り、陸羽線は東北線・奥羽線・羽越線と連絡してゐる。

奥羽地方は冬季、雪が深いので鐵道には處々に雪よけトンネルを設けてあるが、それでもなほ積雪のために汽車の交通がしばぐさまたげられる。殊に日本海方面



雪よけトンネル

海上の交通

は太平洋方面よりも雪が深く、汽車の故障も少くない。

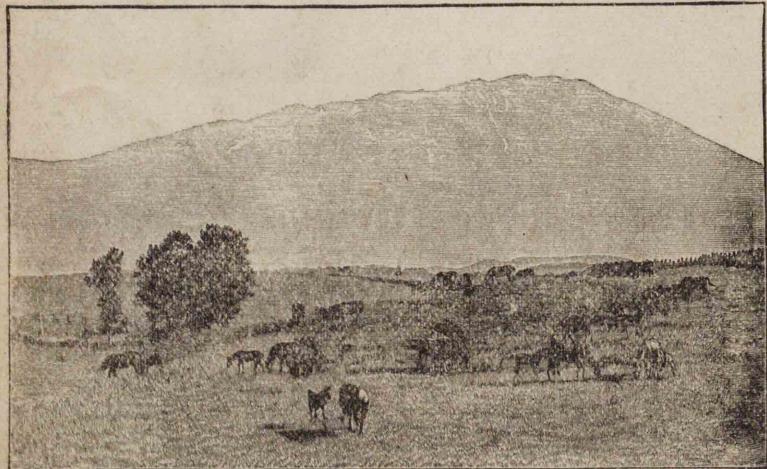
海上の交通は良港が少いのでまだ不便をまぬがれない。殊に日本海方面の近海は冬季、波風が荒く雪が多いので、この季節には船の交通が一層不便である。しかし青森・塩釜の二港はよほど改良されて、この地方での重要な港となつてゐる。

五 都邑

奥羽地方は面積が大きい割合に人口は多くない。しかし三列の山脈の間にある平地と、最上川・雄物

川の各下流の平地は産業が發達し交通が便利であるから人口が密で都邑が多い。東北線と奥羽線とはこれ等の都邑の多い處を通つてゐるのである。

東北線にそつてゐる都會では郡山・福島・仙臺・盛岡・青森、奥羽線にそつてゐる都會では米澤・山形・秋田・弘前が主なものである。仙臺に



山手岩と場牧の馬の近附岡盛

は東北帝國大學がある。又會津盆地の若松もこの地方での屈指の都會である。これ等の都會の中では福島・仙臺・盛岡・青森・秋田・山形はいづれも縣廳の所在地である。

第四 中部地方

一 區域

靜岡・愛知・岐阜・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣の區域を中部地方といふ。

二 地勢・氣候

中部地方は本州の中で最も幅の廣い處であつて、



中部地方の面断図

その中央部には飛驒・木曾・赤石の三大山脈がそれぞれ南北にわたつて相並んでゐる。これ等の山脈は我が内地の中でも最も高くてけはしい處で、中部地方の主な分水嶺となつてゐる。

これ等の大山脈の間や、その北西の飛驒高地には深い大きな谷があつて、それぐるに大きな川が出来、それ等が或は南の方、太平洋にはいり、或は北の方、日本海にはいる。これ等の川はいづれも我が國での屈指の大川であるが、その流れが早いので水運にはあまり便利でない。しかし灌漑・發電には利

山



白馬岳

用され、上流には大小あまたの水力發電所がある。又沿岸處々の平地には産業が發達し、都邑も出來てゐる。殊に下流の海岸地方の平地は面積が大きく、産業も發達し交通も便利で、都邑の數も多い。

飛驒山脈はこの地方の中央にあつて、鎌岳・白馬岳などの山々がその中にそびえてゐる。又この山脈にそつて御岳火山脈が通つてゐるので、御

岳・乘鞍岳等の高い火山がその中にある。これ等の山々はいづれも極めてけはしくて高いから、その景色がいかにも雄大である。山上には夏でも冬に積つた雪がとけきらないで、いはゆる雪谿をつくつてゐる處もある。

赤石山脈は飛驒山脈におとらぬ高い山脈で、その中の白根山は我が内地では富士山に次ぐ高峯で



上頂と雪谿の岳館



富士山と大宮附近の製紙工場

ある。

中部地方の東部には富士火山脈が南北に通つてゐて、その脈は南の方、伊豆七島をへて遠く小笠原諸島にも及んでゐる。この火山脈の主峯は即ち富士山で、高さは凡そ三千八百メートル、四時雪をいたゞいて駿河

灣の沿岸にそびえてゐる美しい姿は、まことに我が國第一の名山たるにはぢない。なほこの地方には、東の境にあつてたえず煙を噴いてゐる淺間山や、飛驒高地の西にそびえてゐる白山など名高い火山がある。

これ等の火山のある處には温泉地が多い。中でも富士火山脈に當つてゐる伊豆半島の熱海・修善寺が最も名高い。

太平洋方面の主な川は木曾川・天龍川・大井川・富士川である。その中、天龍川はたちに太平洋にはい

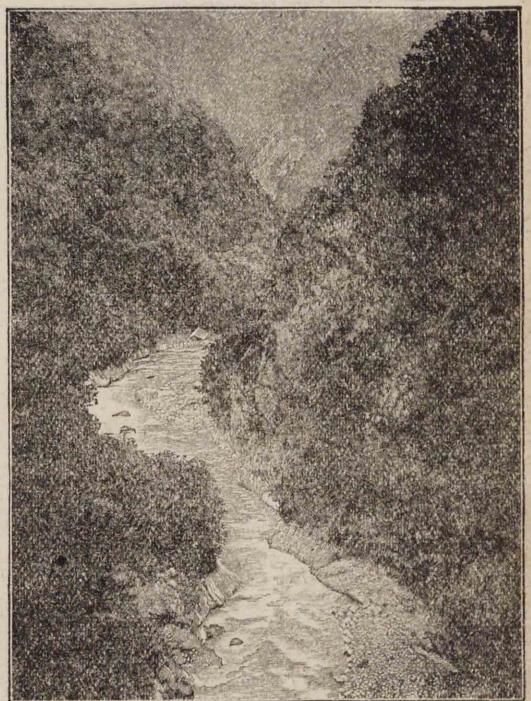
川平地

講地一



長良川の鵜飼

つてゐるが、富士川・大井川は駿河灣にはいり、木曾川は伊勢海にはいつてゐる。木曾川は鵜飼で名高い長良川や、その他の川と共に濃尾平野を灌漑してゐる。この平野は關東平野に次ぐ大平野で、農産物がたくさん出来るばかりでなく、交通も便利であるから名古屋・岡崎・岐阜・大垣などあまたの都會が出来てゐる。日本海方面の主な川には信濃川・黒部川・神通川・庄



川九頭龍川がある。信濃川は本州第一の大川で、長さは三百七十キロメートルもあるが、船の通つて

ゐる處は下流の一部分に過ぎない。しかし灌漑には便利で、その流域にある平地では農業が廣く行はれ、殊に下流流域の越後平野で盛である。この平野は濃尾平野に次ぐ大平野で農産物の產額が多い

く、交通も便利である。したがつて都邑も多い。

これ等諸川の中、水力の利用では木曾川・信濃川が最も名高く、その電氣は遠く東京や大阪へ送られるものもある。

太平洋の沿岸には東に伊豆半島があつて駿河灣の東を限り、西に知多半島があつて三河灣と伊勢海とをへだて、ゐる。駿河灣の沿岸の清水と伊勢海の沿岸の名古

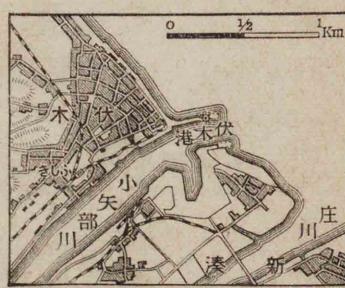
屋とは共に名高い港である。いづれも産業の盛な地方にあつて、陸上の交通も便利であるから、船の出入もしげく、商業もはんじやうしてゐる。駿河灣と伊勢海との間は濱名湖があるばかりで、海岸線の出入が甚だ少く良港もない。



新潟港の圖

日本海の沿岸には南西部に若狭灣がある。この灣の沿岸には小さな灣が多くて、敦賀の良港がある。中央の部分には能登半島がつき出

てるて、その東海岸に七尾がある。この他の部分は海岸線の出入が少い上に砂濱が多いので自然の良港にとぼしい。新潟・伏木の兩港は日本海方面での重要な港ではあるが、海岸の港ではなく、川口を利用したものである。



伏木港の圖



(近附田高) 一 気候が溫和で、處々に保養地
キ がある。又この地方は夏、雨量
ス が多い。日本海の沿岸地方は
冬、雨量が多くて、スキーで名

地もあるから、冬は交通にも産業にも不便が多い。
中央部は地勢の影響で雨量が少く、又海岸地方よりも冬の寒さが強い。諏訪湖ではスケートが盛である。

三 産業



力入りそと雪積の田高

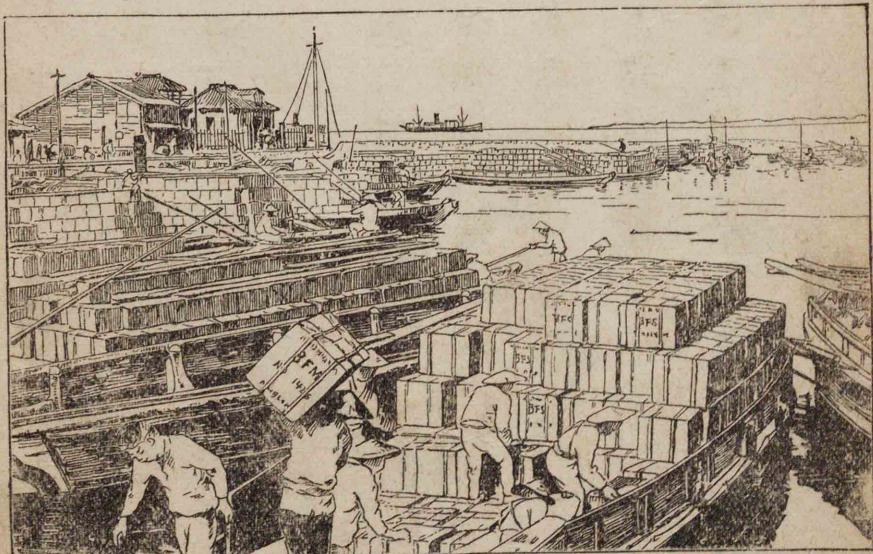
中部地方の大きい川々の下流の流域や、その他の海岸の地方には色々な産業が盛である。殊に太平洋の沿岸地方は農業・工業・商業がいづれも盛である。したがつて大きい都會もこの沿岸地方に多い。中央部にも處々に盆地があつて、そこには農業や工業が發達してゐる。又山地には林

農業

較 比 の 額 產 の 茶

		他のそ 県 府の	京都 府		その他の 県の	縣岡靜
他のそ 方の	州九 方地	畿方	近地	方地	灣臺	方地部中

較 比 の 額 産 の 茶						(年三和昭) 圓萬百三千四約額產年	
		他のそ 縣府の	京都府			その他の 縣系	縣 岡 靜
中部	地方	臺灣	地	方	東	京	散地
他のそ 方地の	州九 方地	畿 方	近 地	方	東	京	散地
濃尾平野は麥・野菜などの集散地となつてゐる。濃尾平野は麥・野菜などの集散地となつてゐる。	潟は米の主な産地であつて、名古屋・新潟は米の主な産地であつて、名古屋・新	が國での米の主な産地であつて、名古屋・新潟は米の主な産地であつて、名古屋・新	後平野とは我國での米の主な産地であつて、名古屋・新潟は米の主な産地であつて、名古屋・新	濃尾平野と越後平野とは我國での米の主な産地であつて、名古屋・新潟は米の主な産地であつて、名古屋・新	ある。		業の盛な處もある。



し出積の茶るけ於に 港水清

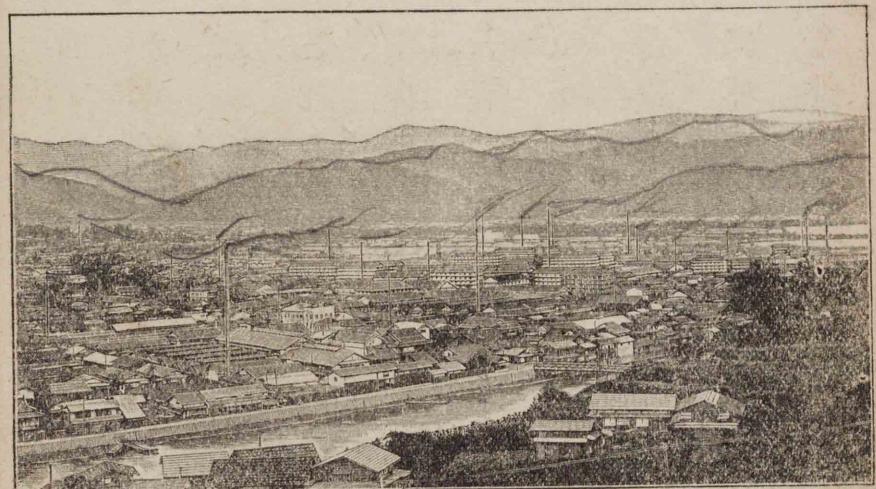
工業

産額も多い。靜岡縣の海岸地方には茶・蜜柑の產額が多く、靜岡では茶の精製・取引が盛である。茶は清水から主としてアメリカ合衆國へ輸出される。

中央部と太平洋の沿岸地方は養蠶業が一般に盛であつて、長野・愛知の二縣は繭の產額の殊に多い處である。

較 比 の 額 產 の 蘭

方地の他のそ	方地東關	方地部中	長野県	愛知縣	群馬縣	埼玉縣	その他の府縣
る。茶に 柑の高							



に長野縣は我が國の生絲
總產額の約四分の一を出
してゐる。同縣の諏訪湖沿
岸の岡谷は我が國製絲業
の大中心地であつて、大小
あまたの製絲工場が立並
び、繭を各地から集めて盛
に生絲を製してゐる。

日本海の沿岸地方は一般
に絹織物業が發達してゐ
る。

るが、中でも福井・金澤及びその
附近は我が國での羽二重・富士
絹の主產地である。

名古屋及びその附近では諸種
の工業が盛であつて、その製產
額の多いのは綿織物・綿絲・毛織
物・陶器・時計である。陶器は我が
國での主な輸出品の一つであ

つて瀬戸・多治見・金澤でも產する。

その他、靜岡や輪島では漆器を製し、富山では賣薬、

生絲の額產比(年三和昭) 圓萬千四億八約額產

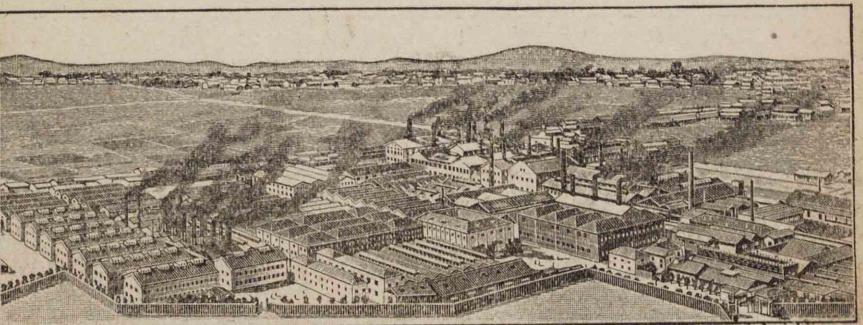
	長野縣	愛知縣	山梨縣	群馬縣	埼玉縣	他の府県	方地東關	方地その他	方地その他
--	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-------	-------

中部地方

絹織物の額產比(年三和昭) 圓萬千五億五約額產

	福井縣	石川縣	富山縣	群馬縣	京都市	他の府県	方地近畿	方地東關	方地その他
--	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-------

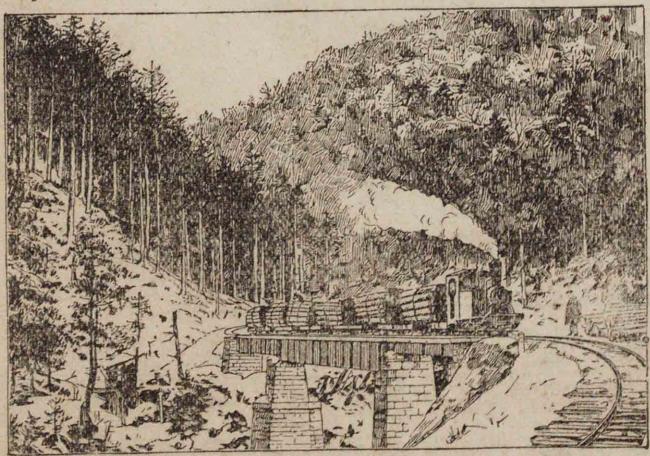
林業



名古屋の製陶工場

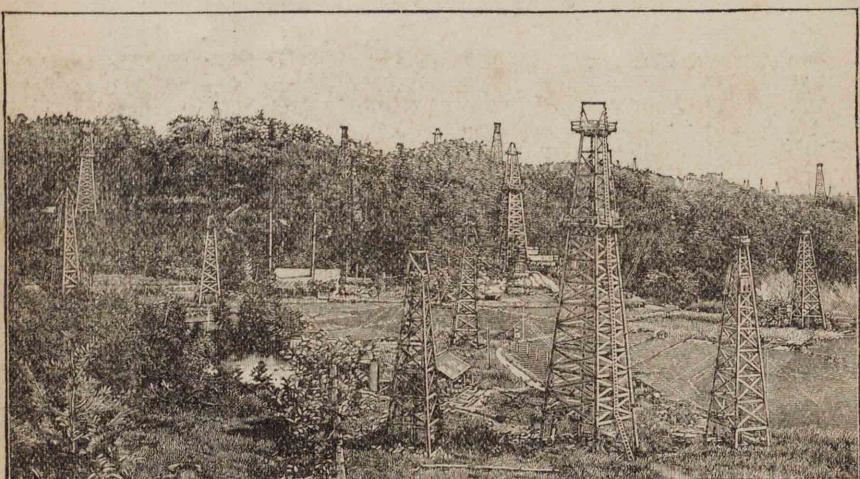
浜松では綿織物・樂器を製してゐる。又富士山の裾野の大宮附近にはあまたの製紙工場があつて洋紙を製造してゐる。

中部地方で最も名高い林業地は木



木曽の森林と鐵道

鑛業



曾川の上流流域の木曽谷であるこゝにはひのき、さはらなどの良材が多いの潟で、これを伐出して各地に輸送する。この木材の主な集散地は名古屋である。

油信濃川の下流の附近は秋田附近と共に我が國での石油の主产地であつて、いたる處に油井の櫓が林の

やうに立並んでゐる。こゝから出る石油は主に柏崎・新潟にある製油所で精製される。

その他の鑛産物の中、主なものは金で、主として佐渡鑛山から産する。

近海には漁業が一般に行はれ、殊に暖流が流れてゐる太平洋方面の近海・遠洋ではかつをの漁獲高が多く、静岡縣では盛にかつをぶしを製してゐる。

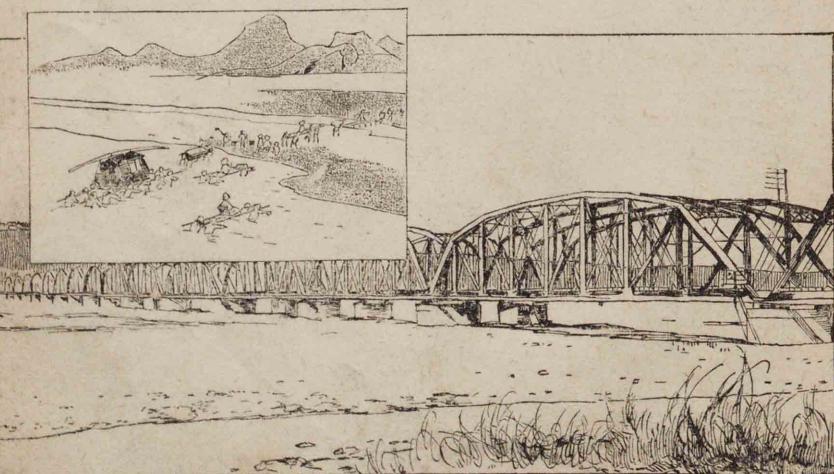
四 交通

陸上の交通

中部地方は高山や急流が多いにかゝはらず、その位置が近畿・關東兩地方の間にがあるので、古くから

主要な街道が通つてゐる。

さうして鐵道もほどこれにそつて敷かれ、太平洋の沿岸には本州の鐵道の幹線である東海道線があり、中央部には中央線や信越線がある。信越線の北の一部分は日本海の沿岸を通つてゐる。なほ日本海の沿岸には北陸線・羽越線があ



大井川の今と昔の鐵橋渡し

る。中央線は名古屋で、北陸線は米原で、東海道線と連絡してゐる。又北陸線は直江津で、羽越線は新津で、信越線と連絡してゐる。中央線や信越線には大小あまたのトンネルがある。中でも中央線の笛子トンネルは我が國第一の長いトンネルである。

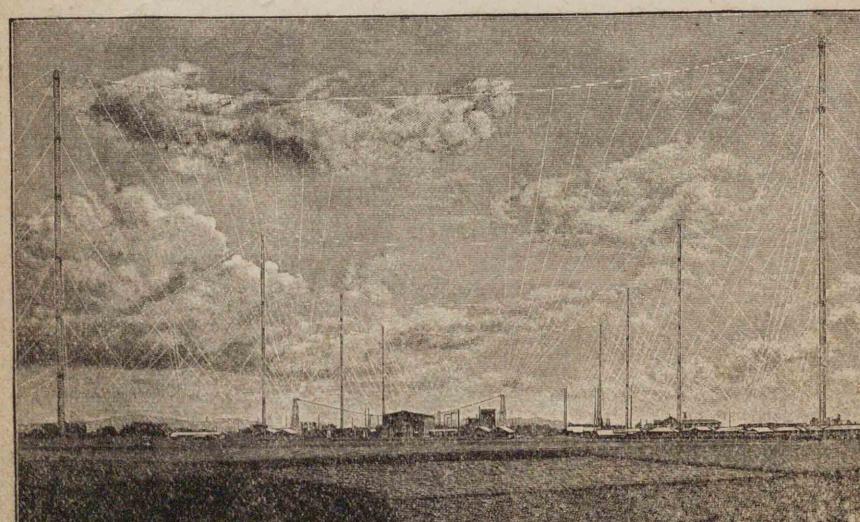


敦賀港

太平洋方面は産業が發達してゐるばかりでなく、名古屋・清水の二良港もあるから、海運の便が大いに開けてゐる。この二港には外國航路の汽船もひんぱんに出入する。

日本海方面は良港が少く、太平洋方面ほど海運

名古屋無線電信局の送信所



ての上道
朝せんの
溝ジのそ
鐵道と
道とかれら
したのでこれら
の諸港は、港の設備が大いにとゝのつて来て、こ

通信

は便利でない。殊に冬季は波風が荒く、雨雪が多いから、海上の交通は困難である。しかし新潟・伏木・敦賀の諸港は、港の設備が大いにとゝのつて来て、この方面での重要な港となつてゐる。

名古屋には無線電信局があつて、遠くヨーロッパ洲と直接に通信してゐる。

五 都邑

この地方で都邑の多い處は、産業が盛で交通も便利な海岸地方の諸平地と、中央部にある盆地とである。

太平洋方面
の都邑

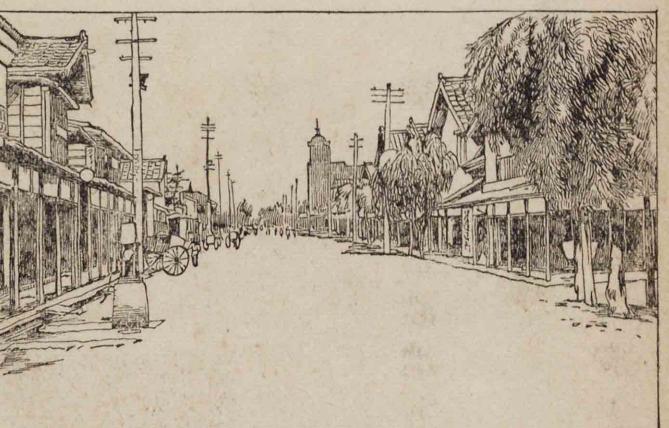


名古屋

殊に太平洋の沿岸地方には縣廳の所在地たる静岡・名古屋・岐阜をはじめ、濱松・豊橋・岡崎・大垣など大きな都會が並んでゐる。中でも名古屋は濃尾平野の南部、伊勢海の北岸にあつて、人口九十万、東京・大阪に次ぐ我が國第三の大都會で、海陸交通の要路に當り、商業

が國第三の大都會で、海陸交通の要路に當り、商業

日本海方面
の都邑



長岡市の街

も工業も發達してゐる。日本海の沿岸地方にある都邑の中、新潟・富山・金澤・福井は盛である。長野・柏崎は石油業によつて、敦賀・伏木は海陸交通によつて發達した處である。

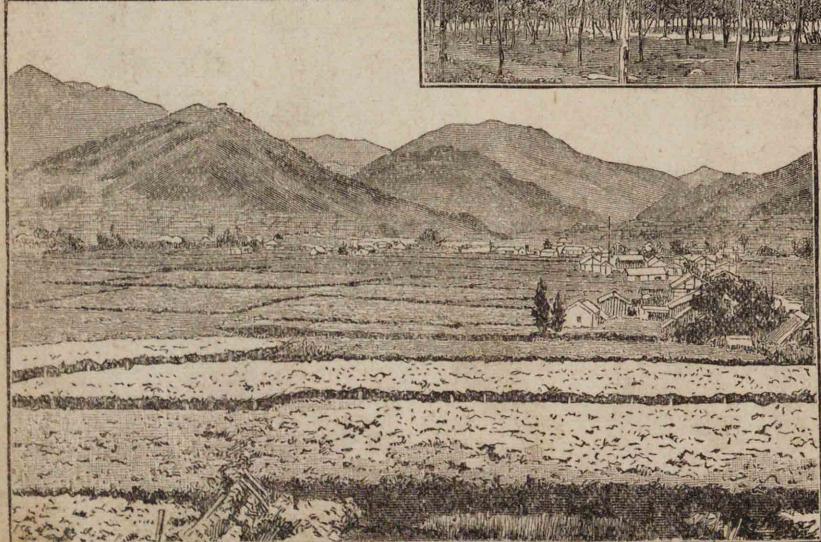
中央部の都邑

中央部の盆地にある主な都會は縣廳の所在地たる長野・甲府と松本とで、長野は善光寺があるので



名高い處、松本。

甲府は製絲業の盛な處である。又甲府の附近ではぶどうを產する。



甲府附近のうだぶ園

京都・大阪の二府と滋賀。

第五 近畿地方

一 地域

兵庫・奈良・和歌山・三重の五縣の區域を
近畿地方といふ。

二 地勢

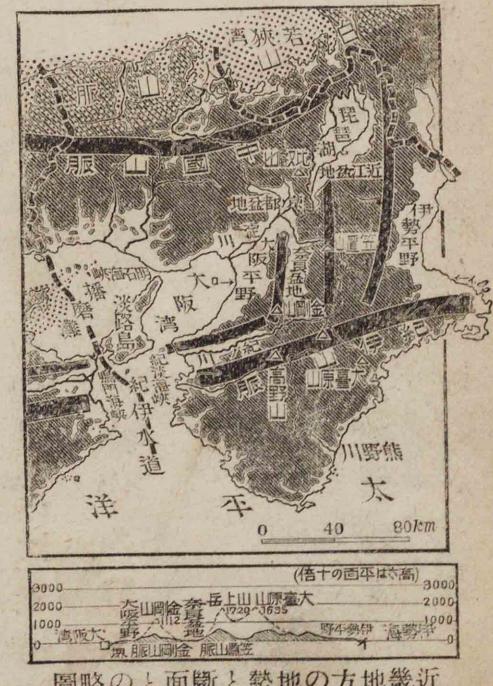
近畿地方は北西部と南部とに山地が

多く、中央部には平地が多い。

が發達してゐて都邑も多い。

南部は東西に長い紀伊山脈のある處で、大體高原
状であるが、北西部に比べると山は高く谷は深く、
山上岳・大臺原山などのけはしい山がある。又この
山脈には金剛峯寺があるので名高い高野山、史蹟
と櫻とで名高い吉野山がある。又南の海岸の近く
には那智瀧がある。

南部の川はおほむね紀伊山脈から出てゐて、その主なものは南に流れる熊野川と、西に流れる紀川とである。紀川の沿岸には一帯の平地があつて、こ



中央部

の平地と海岸の地方は、産業が盛で交通の便も開け都邑も多い。その他は大てい山地で、産業も進まず交通も不便で都邑も極めて少い。

中央部にはいくつもの低い山脈が南北に連なつてゐて、その中には金剛山・笠置山など歴史に名高い山々がある。これ等の山脈の間には近江・京都・奈良の諸盆地がある。又大阪灣と播磨灘の沿岸にはそれ／＼大阪平野と播磨平野があり、伊勢海の沿岸には伊勢平野がある。

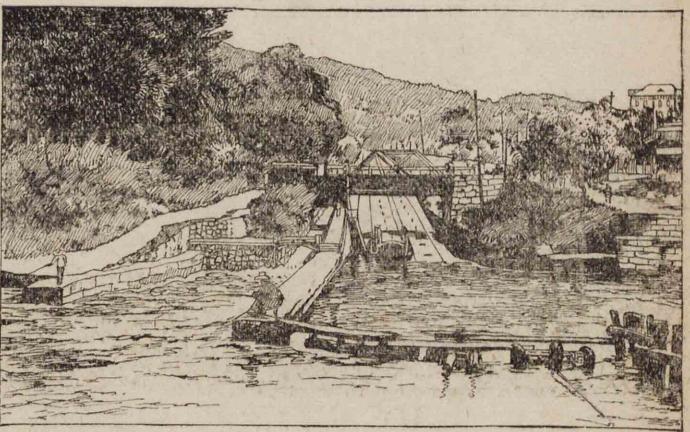
近江盆地には琵琶湖がある。我が國第一の大きさ



琵琶湖 大津

湖であつて、灌漑の便が多く水産物も少くない。その沿岸各地には大津を起點として汽船が往来してゐる。又沿岸附近には處々に名勝の地がある。延暦寺がある。延暦寺がある。比叡山もこの湖の西岸にある。

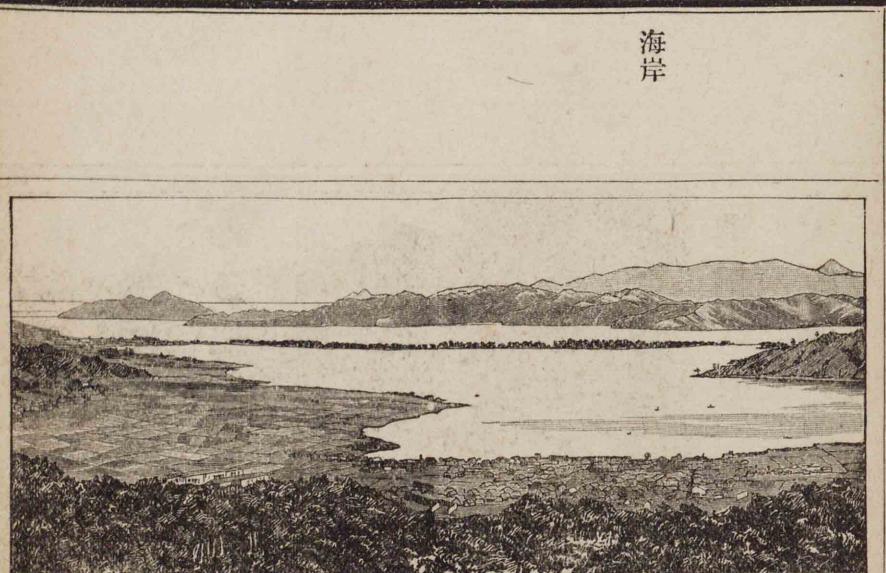
琵琶湖の水は大津の南東から流れ出て淀川となり、京都盆地・大阪平野を過ぎて大阪灣には



スル水運河の蘭クニラシ

いつてゐる。又大津から起つてゐる二條の疏水運河によつて西の方、山地をくぐり、平地を通つて流れ、京都で淀川の支流の賀茂川に合してゐる。この疏水運河も淀川も灌漑・運輸・發電に利用され、又疏水運河の水は京都で、淀川の水は大阪で、飲料水・用水として用ひられてゐる。

中央部の諸平野は早くから開けて産業も發達し



海岸

天橋立

交通も便利で、京都・奈良・大阪・神戸をはじめ都邑が甚だ多い。日本海の沿岸には小さな灣が多い。舞鶴灣には自然の良港があつて、海軍の要港となつてゐるものもある。その西にある宮津灣には一條の砂洲が長くつき出てゐて、松の林がその上をおほひ風景が美しい。これがいはゆる天橋立である。

南部の海岸にも小さな灣が多く、主に漁港として利用されてゐる。紀淡海峡の近くには和歌浦の勝地がある。

中央部の東には伊勢海が入りこんで、その沿岸に四日市があり、西には大阪湾が入りこんで、その沿岸に大阪・神戸の二大商港がある。

大阪湾と播磨灘との間には淡路島があつて、本州



和歌浦



との間に明石・紀淡の両海峡をはさみ、四國との間に鳴門海峡をはさんでゐる。鳴門海峡をはさんでゐる。明石・紀淡の両海峡は交通の要路であつて、船がたえず往來してゐる。明石海峡の北岸は松の立ちついでゐる砂濱の景色が美しい。鳴門海峡は潮流が早いので名高い。

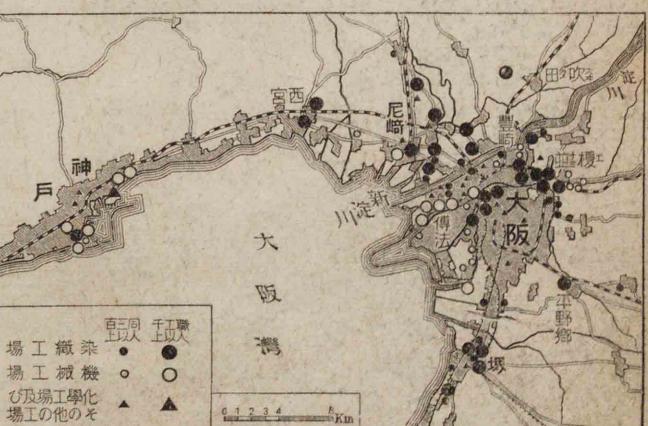
三 産業

工業

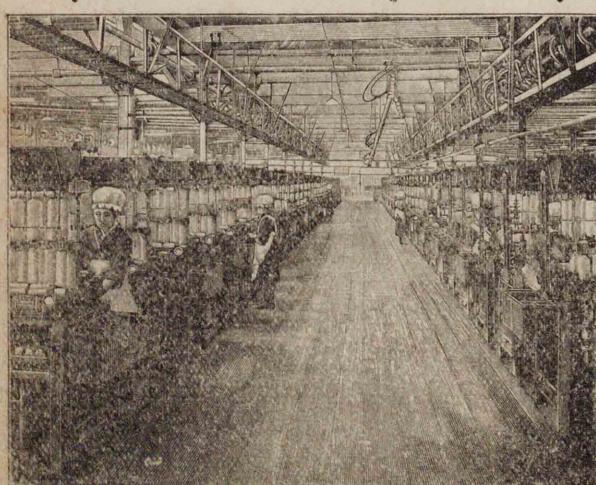


大坂東部の工場地帯

中央部の諸平野では工業が大いに發達してゐる。殊に大坂灣沿岸の地方は我が國の一大工業地區であつて、神戸・尼崎・大阪・堺等の工業市



阪沿岸に於ける工場工場の分布

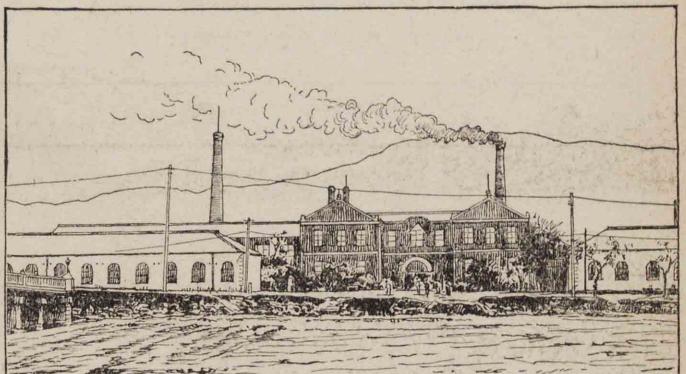


大坂の工場工場の内側

較比の額産の絲綿
(年三和昭) 圓萬千七億五約額產年

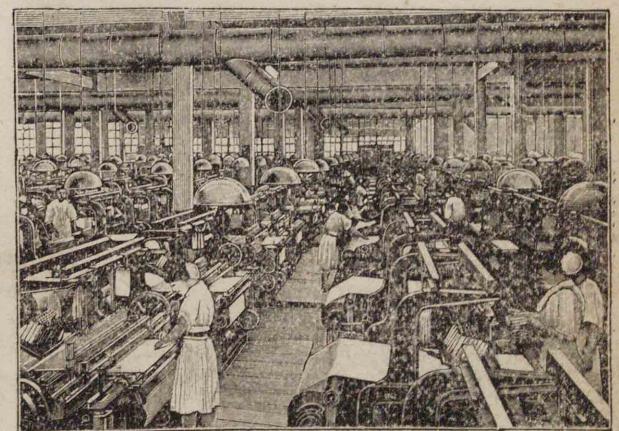
	他その他 方地の他その他 方地	縣知愛 方地部中	他その他 縣府の 方地	縣庫兵 方地	府阪大 畿近
--	-----------------------	-------------	-------------------	-----------	-----------

が相接してゐる。中でも大阪はいたる處に大きい工場があつて、煙突えんとうが林のやうに立並び、煤煙まいえんが空にみなぎつてゐる。この沿岸地方での主な工業品は綿絲・綿織物・毛織物・メリヤス・機械・砂糖・肥料・マツチ等である。いづれも多大の産額があり、



京都市の織物工場

海外にも多く輸出される。したがつて大阪・神戸では商業も極めて盛である。又京都では絹織物・染物・陶器等の製造が盛で、いづれも品質が優れてゐる。又四日市・津・和歌山では綿絲・綿織物の產額が多くなる。



近畿地方の織物工場



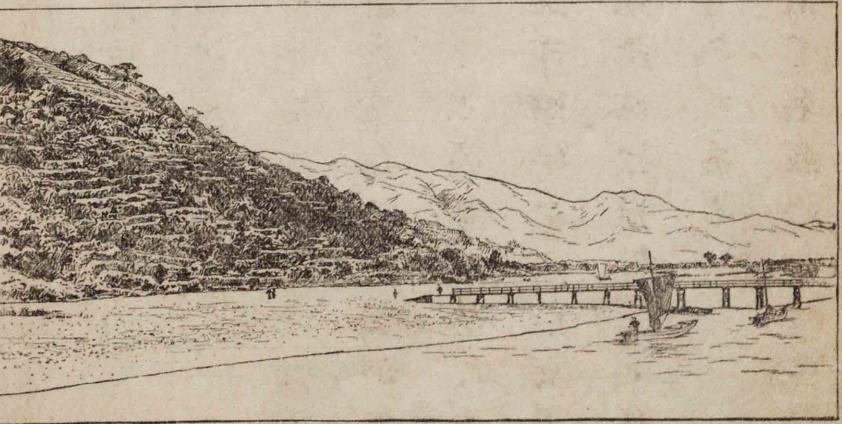
い。海
南
紀
川
の
下
流
に
於
け
る
木
綿
の
工
場
し
ら
さ
の
大
津
附
近
で
は
琵
琶
湖
の
水
利
用
し
て
人
造
絹
絲
工
業
が
盛
で
ある。
中
央
部
の
諸
平
野
で
は
米
麥
菜
種
な
ど
が
多
く
と
れ
る。
又
紀
伊
水
道
の
沿
岸
地
方
で
は
處
々
で
蜜
柑
を
产
す
る。
中
で
も
最
も
名
高
い。
黑
江
で
は
漆
器
を
产
す
る。

他のその 縣の 方地のそ の他の方	縣知愛	他のその 縣府の 方地部中	府阪大 近畿工場
萬地の萬地のそ の他の方	方地部中	方地	畿工場

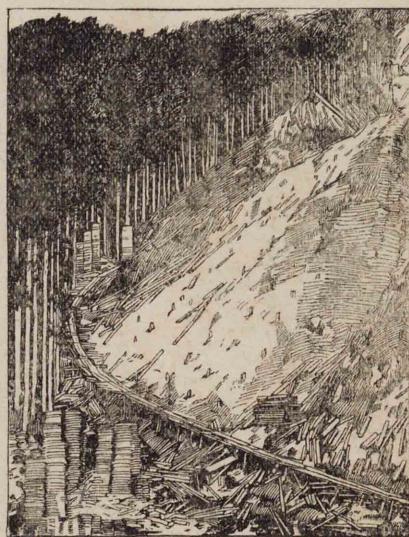
綿織物の產額比較
(年三和昭) 圓億八約額產年

い産地は有田川の沿岸である。この蜜柑は内地の各地ばかりでなく朝鮮・満洲等にも送られる。

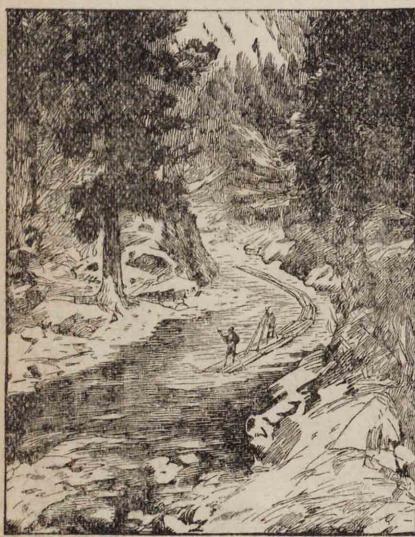
南部は氣候が暖かで雨が多いから樹木がよくそだつ。殊に紀川・熊野川の流域は杉の造林が盛であまたの良材を産し、熊野川流域のものは主として川によつて新宮に送



有田川沿岸の蜜柑山



紀上川流の域木採の



紀上川流の筏流

られ、紀川流域のものは川又は鐵道によつて各地に送られる。

紀伊半島の近海は暖流が流れてゐて魚類が多いので水産業が盛である。又志摩半島の沿海の養殖眞珠は世界で名高いものである。

鑛山で名高いのは生野

鑛山で、こゝから出る銅銀の鑛石は瀬戸内海の直島なほしまで製鍊される。

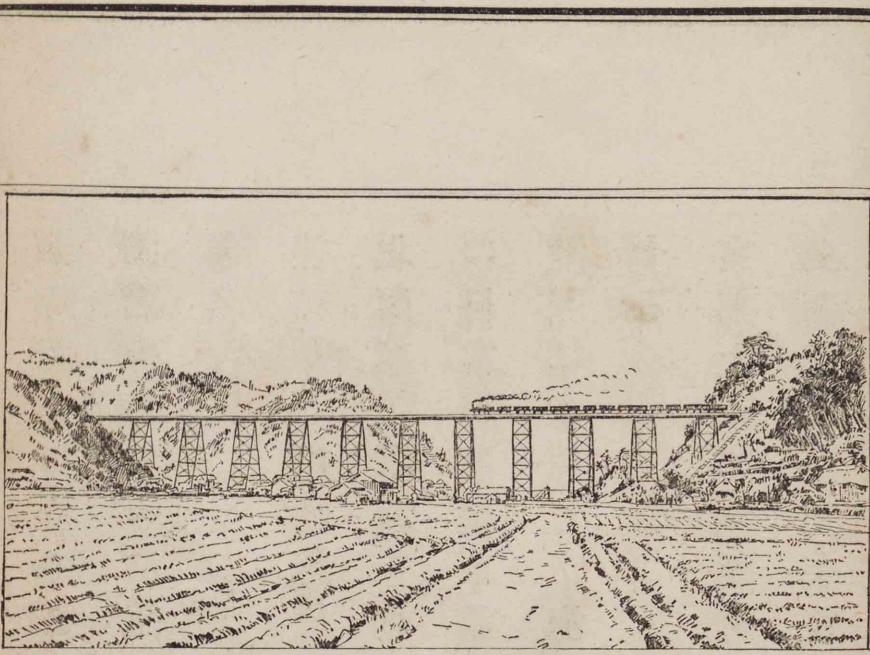
四 交通

近畿地方は關東地方と共に我が國で最も交通の發達してゐる處であつて、大阪・京都からは鐵道が四方に通じ、神戸・大阪から航路が内外の諸港に通じてゐる。鐵道には本州の鐵道の幹線である東海道線・山陽



(島牛摩志) 取採の貝母珠真

線をはじめ關西線・山陰線・北陸線等がある。

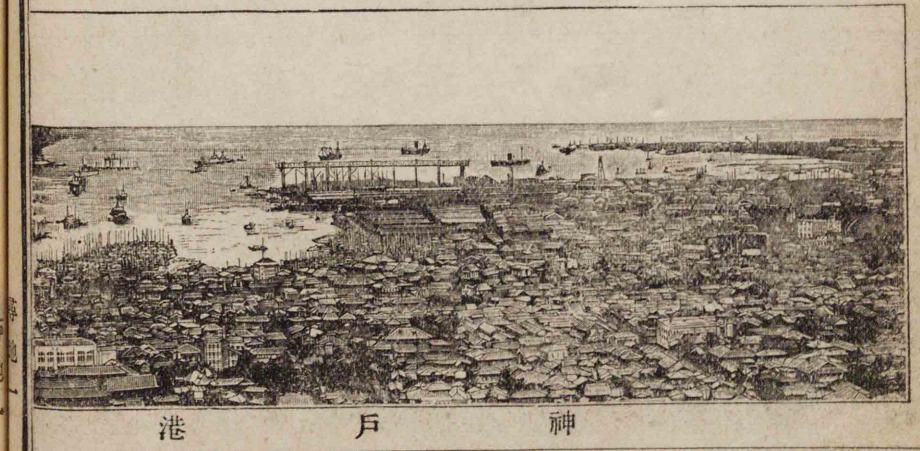


山陰線の高架橋と山東海道線は中央部の近江盆地・京都盆地及び大阪平野を通り神戸に至つて山陽線に接續してゐる。山陽線は神戸から西の方、姫路を過ぎ中國地方の瀬戸内海の沿岸を通つて下關に至る。東京・神戸間は約九時間、神戸・下關間は約

十時間の行程である。

關西線は大阪に起り奈良を過ぎ名古屋に至つて東海道線と連絡する。山陰線は京都に起り北西部の山地をへて中國地方の日本海沿岸を通つてゐる。北陸線は米原で東海道線と連絡する。

京都・大阪間、大阪・神戸間、大阪・奈良間及び京都・奈良間は汽車の

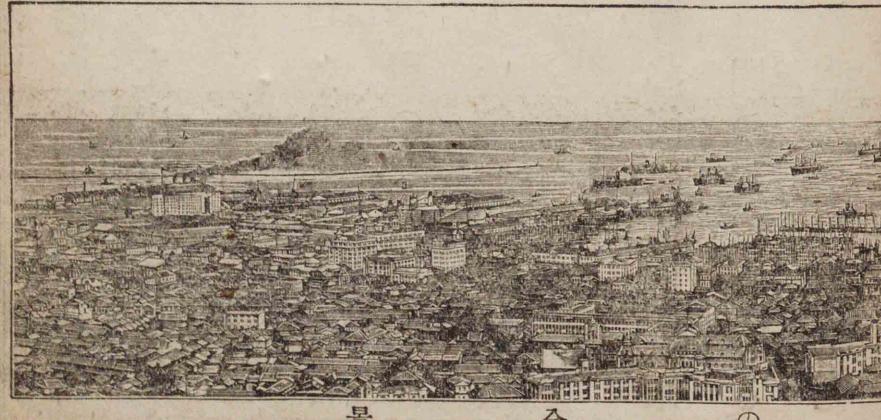


神戸港

外、電車もひんぱんに往來し、交通が至つて便利である。

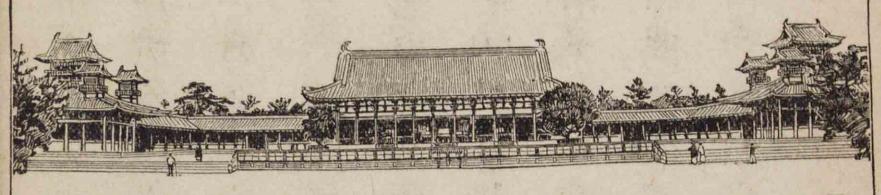
この地方の諸港の中、神戸・大阪の二港は内には瀬戸内海、その他、近海の航路の起點となり、外には支那・印度・ヨーロッパ・洲南北兩アメリカ・カ洲・オーストラリヤ等、世界各地の港と航路が相通じてゐる。

五 都邑



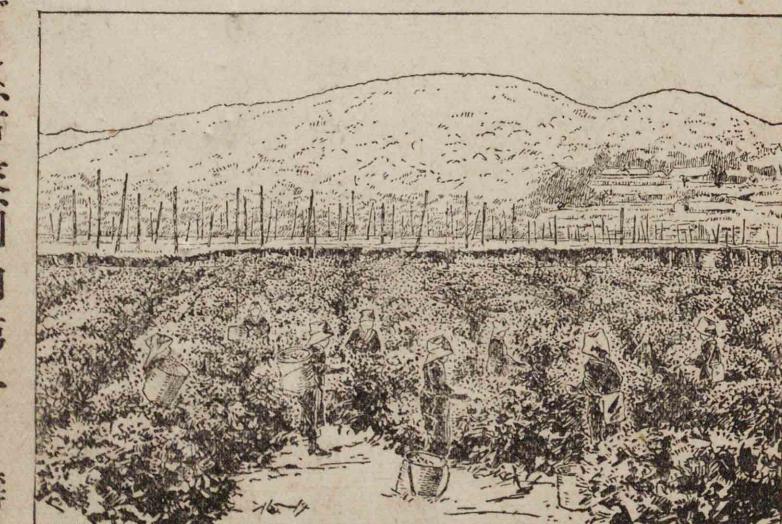
京全景

京都



中央部の諸平野は神武天皇以來御歴代の皇居のあつた處だけに名所。舊蹟が多く、又産業も極めて盛であつて、我が國で人口の最も密な處である。殊に大阪灣沿岸の工業地區に神はいくつもの大きい都會が相連なつてゐる。

京都は京都盆地の北部にあつて、東京との間は約八時間の行程である。人口は七十七万、桓武天皇以來久し



宇治の茶摘み

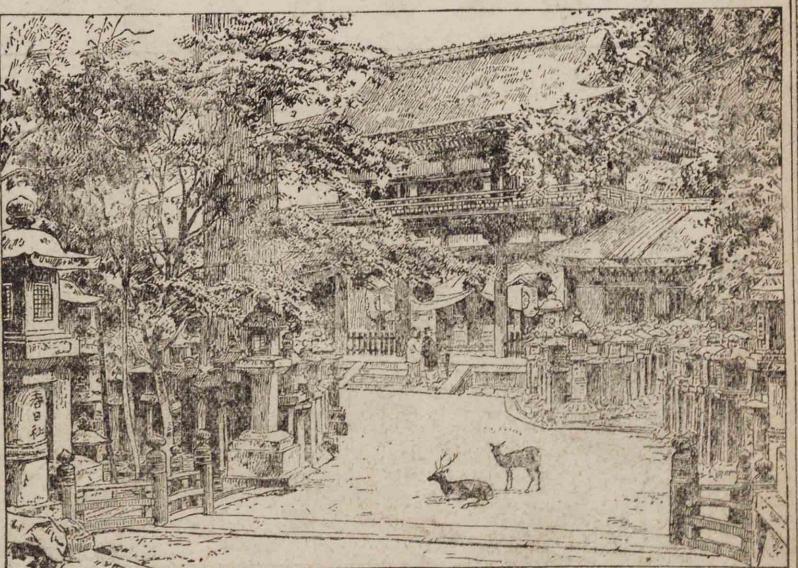
く帝都であつた處で、京都御所・二條離宮の外、平安神宮・北野神社・知恩院東西兩本願寺をはじめ社寺や名所・舊蹟が甚だ多い。又京都帝國大學及び各種の學校、博物館等があつて、我が國での學術の一中心地となつて居り、美術工藝品の製作では、古來、國內第一と稱せ

られてゐる。

京都の南の桃山には
明治天皇陵・昭憲皇太
后陵がある。桃山の附
近は名高い宇治茶の
産地である。

奈良

奈良は奈良時代七十
餘年の間帝都であつ
た處で、奈良盆地の中
心地である。正倉院・春日神社・東大寺など奈良時代



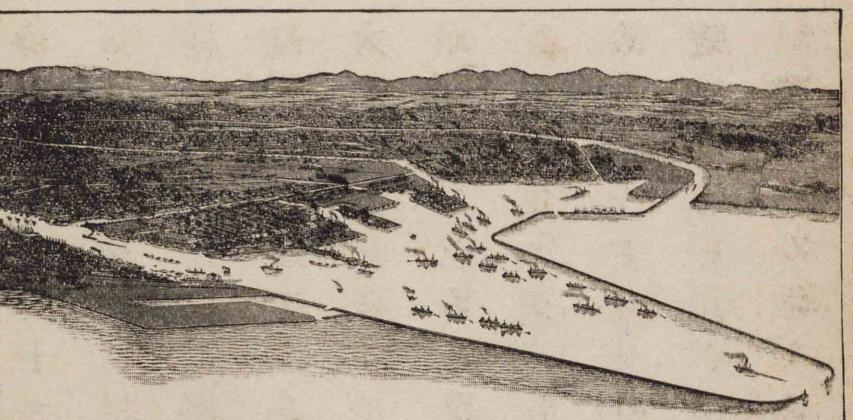
春日神社

大阪



(近附島之中) 大阪市街圖

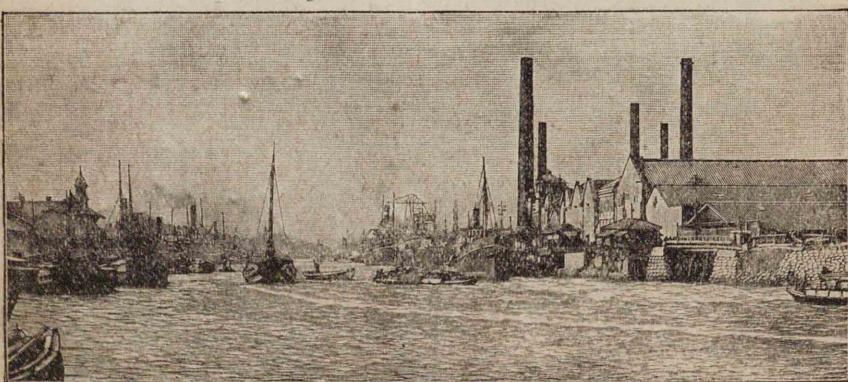
のものが多く残つてゐ
る。奈良の南西には法隆
寺があり、南には神武天
皇陵・橿原神宮がある。
大阪は淀川の下流の沿
岸平地にあつて、人口は
二百四十五萬、東京と並
び称せられる大都會で、
近畿地方以西に於ける
商業の中心地であり、我が國第一の工業地である。



淀川の下流及びこれから分
れてゐる疏水運河が、市内を
縦横に通じて水運が便利で
あるから、水の都ともいはれ
てゐる。又港の設備がよくと
とのつてゐて大きい汽船も
港こゝに出入ることが出来
る。したがつて交通も貿易も
年と共に發達し、綿織物の輸
出が甚だ多い。

神戸

神戸は人口七十九萬、横濱と並
び稱せられる大開港場で、港の
設備がよくとゝのひ、出入する
汽船の數は横濱よりも多い。貿
易は横濱の場合と反対に輸入
が主で、その額は我が總輸入額
の凡そ五分の二を占めてゐる。
輸入品の主なものは繰綿・鐵・毛
織絲・羊毛などである。繰綿は我
が國第一の輸入品であつて、ア



淀川の下流

その他

メリカ合衆國・印度等からこゝに来るものが最も多い。輸出品の主なものは生絲・綿織物・絹織物などである。神戸は工業も盛で造船所をはじめいろいろ大きな大きい工場がある。津・大津・和歌山は縣廳の所在地で、それぐるその縣内の中心地になつてゐる。宇治山田は神宮の所在地で、姫路は播磨平野の中心地である。



神戸港の輸出入比較図

(年三和昭) 圓萬千三億六約額出輸年
(年三和昭) 圓萬千八億八約額入輸年

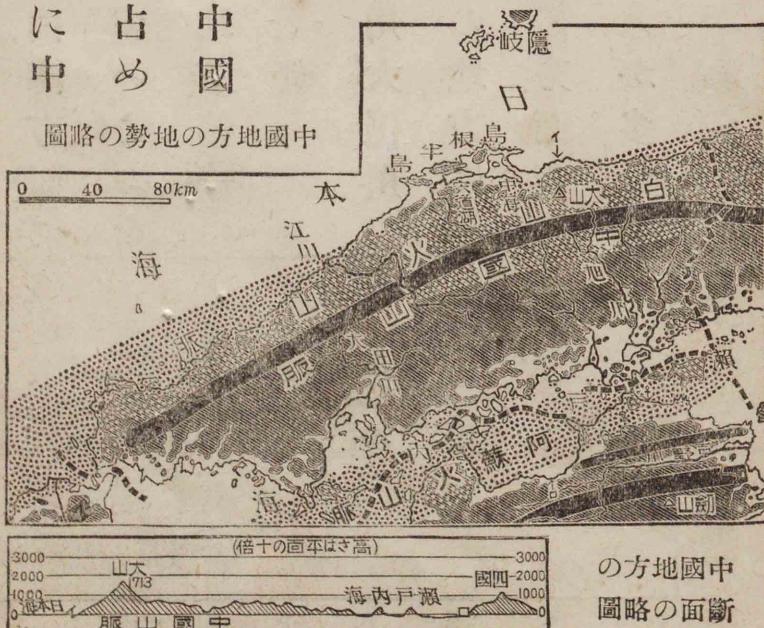
第六 中國地方

一 地域

岡山・廣島・山口・島根・鳥取の五縣の區域を中心とした中國地方といふ。

二 地勢

中國地方は高原狀の中國山脈がその大部分を占めて居り、平地が少い。殊に中國山脈の分水嶺が北にかたよつてゐる上に、これ



瀬戸内海方面

にそつて火山脈が通つてゐるの
で、日本海方面は瀬戸内海方面に
比べて平地がよほど少い。この火
山脈中の大山は中國地方第一の
高山である。

瀬戸内海方面には旭川・大田川な
どがあつて、その下流の地方に小
平地が開けてゐる。この方面の海
岸地方は海岸線の出入が多く、近
海にはたくさんの島があつて、いたる處に良灣が



米子と大山

尋地一

あり、海上も波が静かであるから船の交通が甚だ
便利である。港の主なものは下關・宇品・吳・絲崎・尾道
である。又この海岸地方は北に中國山脈を負つて
ゐるから氣候が温和である。したがつて産業も發
達し都邑も多い。

日本海方面

日本海方面では江川の外、川はいづれも短く、又一
般に沿岸の平地が少い。中央部には島根半島・夜見
浜があつて、中海をかこみ、夜見浜の先端には境が
ある。この外には港湾が甚だ少く、島も隱岐を主な
ものとするに過ぎない。このやうな地勢である上

に冬季、雨雪が多く波風も荒いので、海上の交通は不便をまぬがれない。したがつて瀬戸内海方面に比べると産業も進まず都邑も少い。

三 産業

農業・牧畜

日本海方面では農業・牧畜が産業の主なものである。瀬戸内海方面では商業・工業が主な産業であるが、農業・牧畜に於いても日本海方面よりも盛である。

農産物の中、米は最も主なもので、多く瀬戸内海方面に产する。牧畜は牛が主で、殊に盛な處は廣島・岡

工業・礦業

較比の頭數の牛
(年三和昭) 頭萬十四百三約數總

	方	地	朝	鮮	地	方	中國	臺灣	九州	近畿	他
方	日本海	瀬戸内海	東北	東北	東北	東北	東北	東北	東北	近畿	其他
頭數	14,000	13,000	12,000	11,000	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000

山の二縣である。

岡山・福山など、瀬戸内海沿岸の各地で

は工業が發達して

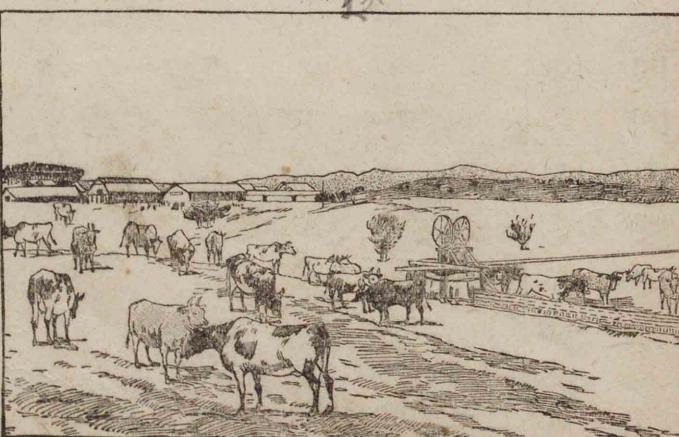
みて、綿絲・綿織物・疊

表・花筵等を多く產する。礦產物には宇

部附近の石炭、各地の花崗岩がある。

海岸地方には漁業に從事する者が多く、中には朝

水産業



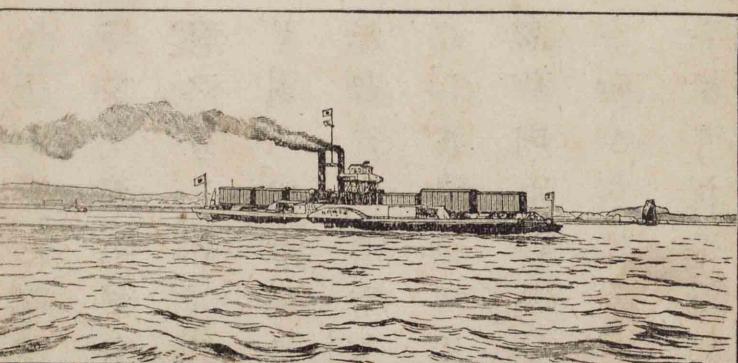
(るあに縣島廣) 牛の牧場

鮮近海に出漁する者も少くない。水産物は主として下關で集散され、その中、產額の多いのは山口縣の鯛である。隱岐のするめ、廣島灣のかきも中國地方で名高い水產物である。

瀬戸内海の沿岸は、日本海方面から来る濕氣が中國山脈によつてさへぎられ、太平洋方面から来る濕氣が四國山脈によつて



廣島灣のかきの養殖



下關海峡の車輌貨物輸送船

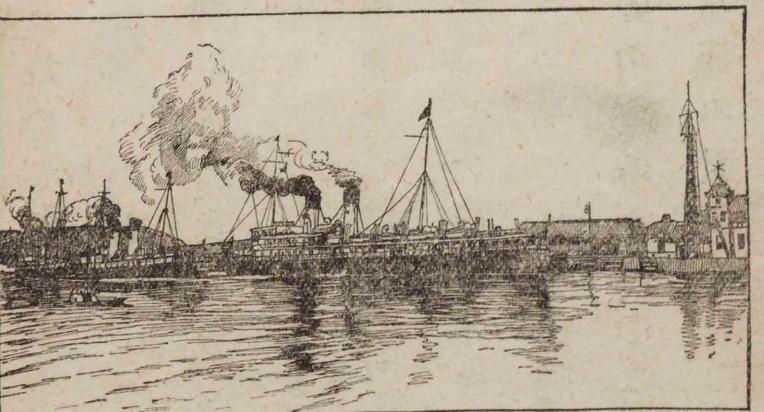
さへぎられるので、雨量が少く晴天の日が多いから、砂濱は處處塩田に利用され、我が國での主な製塩業地となつてゐる。

四 交通附瀬戸内海の交通

瀬戸内海の沿岸には本州の鐵道の幹線の一部である山陽線があつて、岡山・廣島など、この方面の主な都會を通つてゐる。その西端に當る下關と、下關海峡をへだてゝこれと

相對してゐる九州の門司との間には鐵道連絡船がひんぱんに往來して、山陽線と九州の鐵道の幹線との連絡をとつてゐる。

下關と朝鮮の釜山との間にも鐵道連絡船の往來があつて、山陽線及び九州の鐵道の幹線と朝鮮の鐵道との連絡をとつてゐる。片道に要する時間は九時間内外である。



(港關下) 船連絡釜山

岡山の南にある宇野と四國の高松との間にも鐵道連絡船が往來してゐる。

日本海方面の海岸には山陰線があつて、鳥取・米子・松江等の主な都會を通つてゐる。又この鐵道と山陽線との連絡も大いに進んで來たので、この方面的陸上交通はよほど便利となつたから、産業も今後一段の發達をなすであらう。

瀬戸内海は近畿・中國・四國・九州の四地方にかこまれ、古來、我が國に於ける海上交通の要路で、東には神戸・大阪、西には門司・下關など國內有數の開港場

をひかへてゐるので、内外國の汽船がたえず往來してゐる。

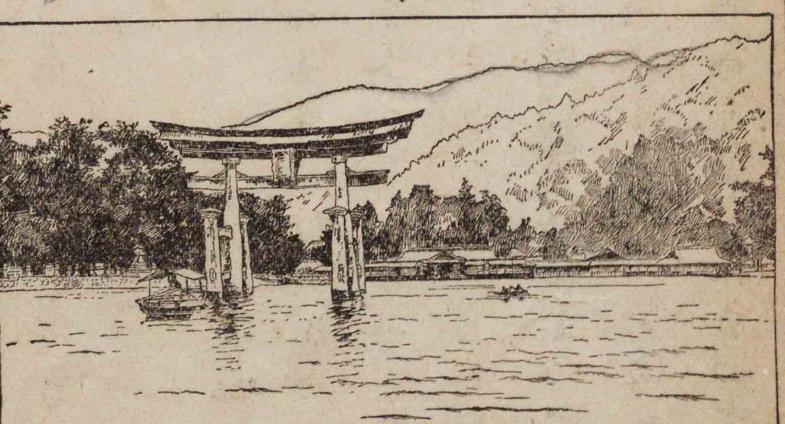
人 口 二 千 萬

海上には大小無數の島が散在してゐて景色がよいので、海の公園といはれてゐる。島島の中、廣島灣内の嚴島は嚴島神社があるので名高い。

五 都邑 人 口 二 千 七 百

瀬戸内海方

瀬戸内海の沿岸地方は産業が發達し交通が便利



嚴島神社

尋地一

であるから、都邑もしたがつて多い。その主なもののは縣廳の所在地たる岡山・廣島・山口と福山・尾道・吳・宇部・下關である。

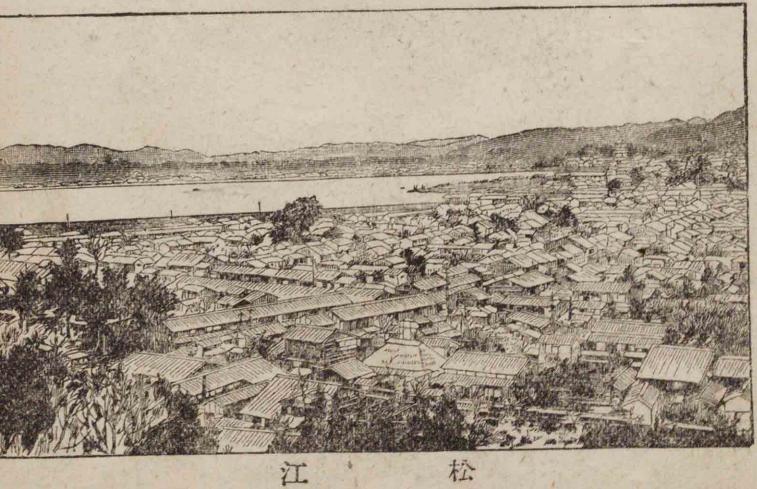
岡山は旭川の下流の平地にあつて、交通の要路に當り、商業も工業も發達してゐる。廣島は大田川の下流の平地にあつて、宇品港をもつてゐるので海陸の交通が便利で商業も盛であり、人口が二十七萬、中國地方第一の都會である。吳は軍港によつて發達した處で兵器・艦船を製造する海軍の工場がある。下關は門司と共に瀬戸内海の門戸になつて

るる處で、交通が便利で商業が盛である。

日本海の沿岸地方では鳥取と宍道湖に臨んでゐる松江とが主な都會で、いづれも縣廳の所在地である。なほこの方面には米子及び大社がある。米子は商業地で、大社は出雲大社のある處である。

第七 四國地方

尋地一



一 地域
徳島・香川・愛媛・高知の四縣の區域を四國地方といふ。

二 地勢

四國地方は山地が多くて平地が甚だ少い。主な山脈は四國山脈で東西に走り、劍山・石鎚山などの高山がその中にある。川は大ていこの山脈から出てゐる。最も大きいのは吉野川で、四國山脈にそつて東に流れ紀伊水道にはいる。



この川の下流の徳島附近、瀬戸内海方面の高松・松山附近、太平洋方面の高知附近等にある諸平野は山の多い四國地方での主な産業地であり、且これ等の地方は交通も便利であるから都邑が發達してゐる。

瀬戸内海方面や豊後水道方面には灣が多く、又その近海には島が多い。したがつて港として利用される良灣が少くない。

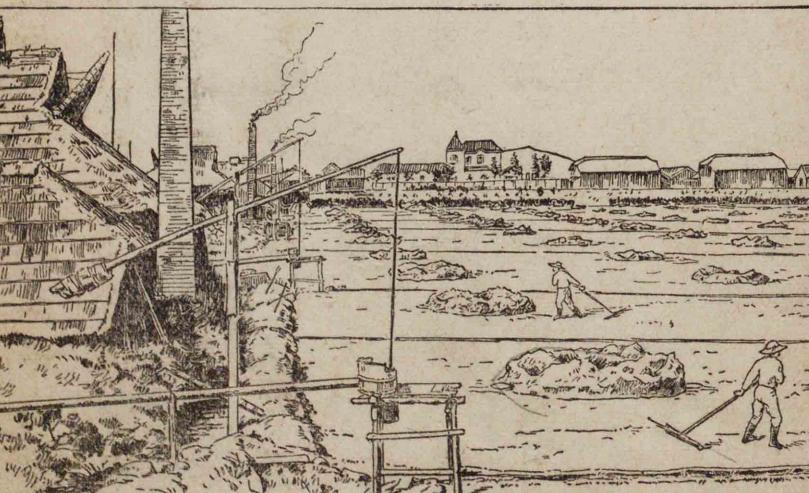
三 産業

太平洋方面は北の四國山脈と近海の暖流との影

林業・水産業

海岸

響で、瀬戸内海方面よりも氣候が一層暖かく、雨量がゆたかである。それ故、この方面では樹木が繁茂し林產物の產額が少くない。



香川県の塩田

尋地一

の沿岸も製塩業地として知られてゐる。

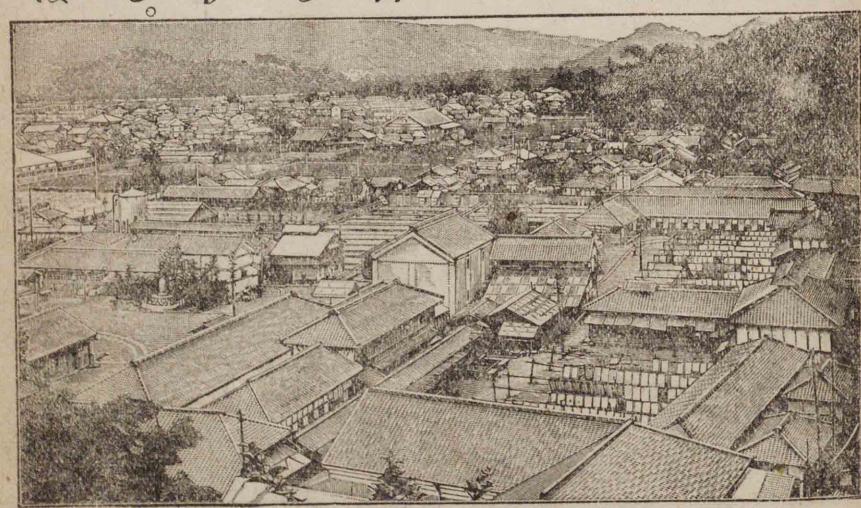
鑛業その他



四阪島の製鍊所

四國地方の近海は一般に漁業が盛である。殊に太平洋方面の近海ではまぐろ・かつをがたくさんとれる。高知縣のかつをぶしは四國地方での名高い水産製造物である。

四國山脈の中にある別子鑛山は日立・足尾・小坂と並び稱



伊野の紙工場

せられる大鑛山であつて多く銅鑛を產し、その鑛石は瀬戸内海の四阪島で製鍊せられる。

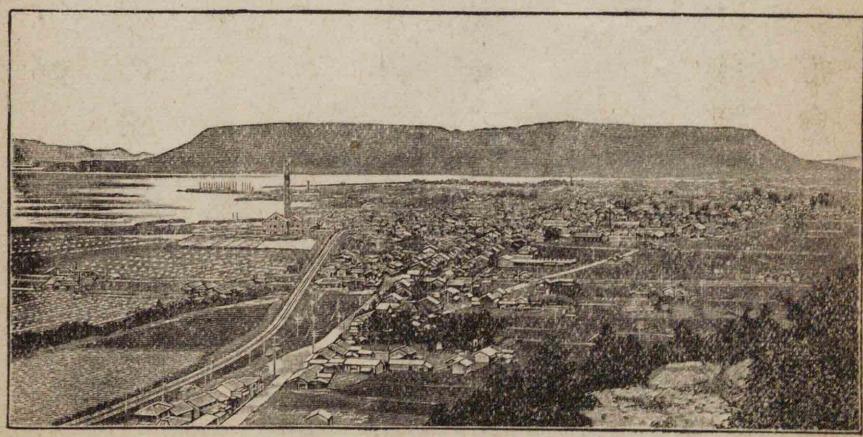
高知縣・愛媛縣では各地でみつまたやかうぞを原料として和紙を製造してゐる。高知とその西にある伊野は和紙の主產地である。

この外、松山・今治・徳島では

綿織物を産する。

四 交通

四國地方の主な鐵道は瀬戸内海の沿岸と、吉野川の下流の沿岸を通るものである。瀬戸内海沿岸の鐵道は高松・多度津・今治・松山など、主な都會を通り、これと山陽線との連絡をとるため、高松と宇野との間には鐵道連絡船が往来



高 松 港

してゐる。又多度津から琴平方面に向ふものは、南方、山地を超えて吉野川沿岸の鐵道と連絡している。

海岸はいたる處に港があつて、互に航路を通じてゐるばかりでなく、大阪・神戸をはじめ中國・九州の諸港ともひんぱんに船の往來が出来るので、海上の交通は極めて便利である。

五 都邑

都邑は主として海岸の平地に發達してゐる。中でも高松・徳島・高知・松山は大きい都會で、いづれも縣

廳の所在地である。殊に高松は交通上の要地で商業も盛である。その附近には多度津・丸龜・琴平など都邑が多い。琴平は金刀比羅宮があるので名高い。松山は近くに三津濱・高濱の二港があつて、その間の連絡が便利であるから、商業・工業が盛である。その東にある道後は温泉地として知られてゐる。なほ豊後水道の沿岸にある宇和島、瀬戸内海の沿岸にある今治もこの地方での主な都邑である。

第八 九州地方

一 地域

九州地方とは九州島及びその近海の島々と琉球列島とをふくむもので、福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿児島・宮崎・大分・沖縄の八県の区域をいふのである。

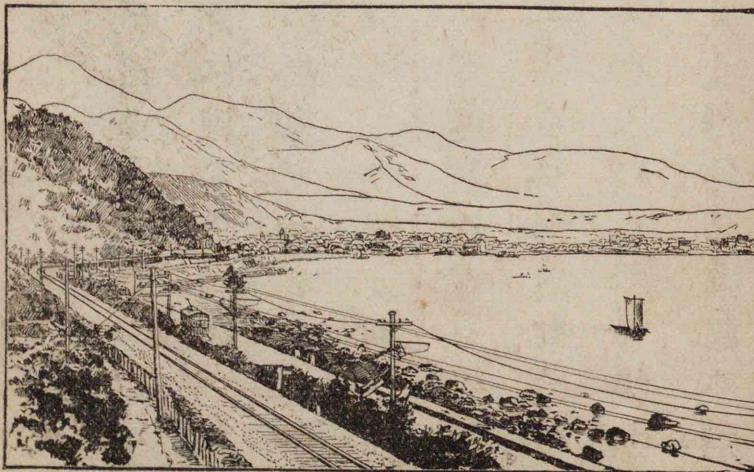
二 地勢

九州島の大部分は山地であるが、海に近い部分には處々に平地がある。海岸線は出入が極めて多く、近海は島が多い。

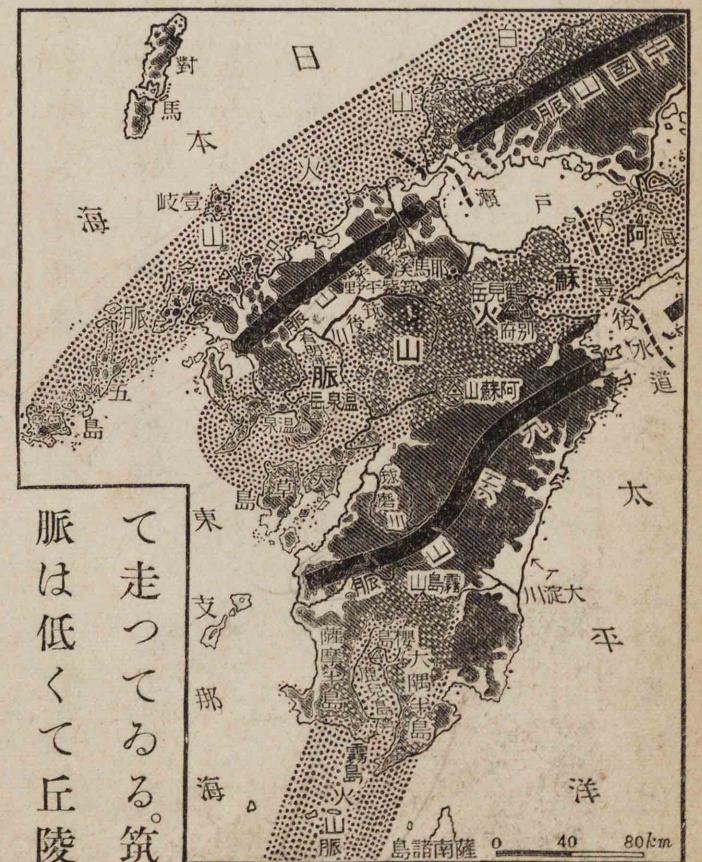
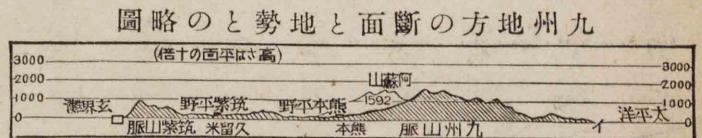
中國山脈のつゞきの筑紫山脈は九州島の北海岸にそつて走り、四國山脈のつゞきの九州山脈は中

なつてゐる。

この二つの山脈の間には東西に阿蘇火山脈が通つてゐて、その中に鶴見岳・阿蘇山・温泉岳などの火山があり、又別府・温泉などの温泉地や耶馬溪の名勝もある。阿蘇山は高さは約一千六百メートルに過ぎないが、阿蘇火山脈の主峯であ



岳見鶴と府別

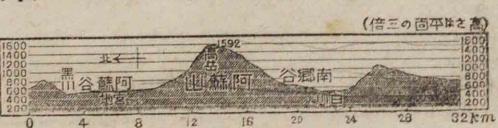


八キロメートル、南北二十四キロメートル、諸外國にも例のない大火口である。今ではその火口が埋まつて、中央部には新しい數個の火口丘が出来てゐる。これと元の火口壁との間は平山地になつてゐて、農業・牧畜が行はれ、都邑がいくつも出來てゐる。

霧島火山脈は九州島の南部を南北



阿蘇



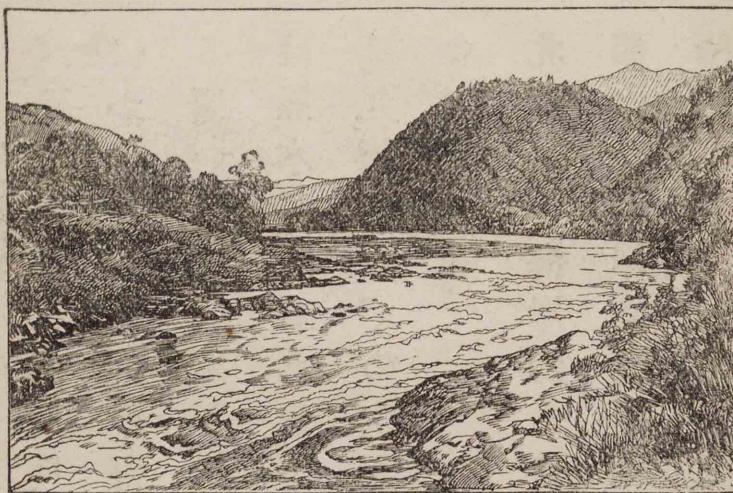
阿蘇山の面断面略圖

に通つてゐて、その中に霧島山・櫻島などの火山がある。この火山脈は更に南へのびて、薩南諸島についでゐる。

主な川は西に流れる筑後川・球磨川・川内川、東に流れ大淀川などである。いづれも水運には不便である

が、灌漑・發電には利用されてゐる。

川・平地



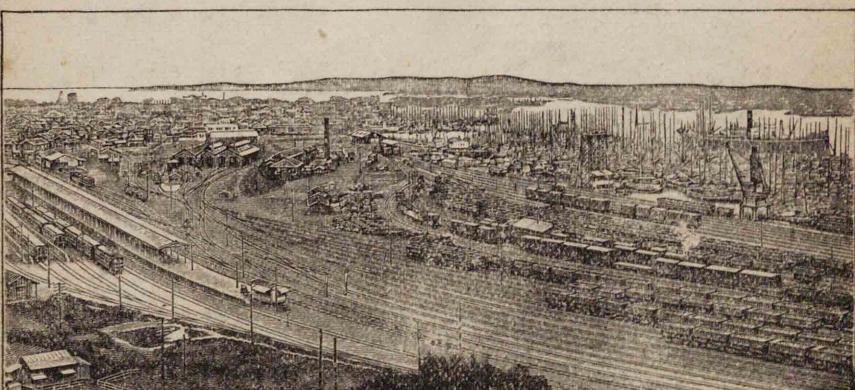
川 磨 球

海岸

これ等の中、筑後川は最も大きい、その流域から有明海の北岸にかけては筑紫平野と呼ばれる廣い平地があり、又その南には熊本平野がある。この兩平野は九州地方での主な農業地となつてゐる。

北西部の海岸即ち日本海・東支那海の沿岸は海岸線の出入が極めて多く、いたる處に天然の

松若港

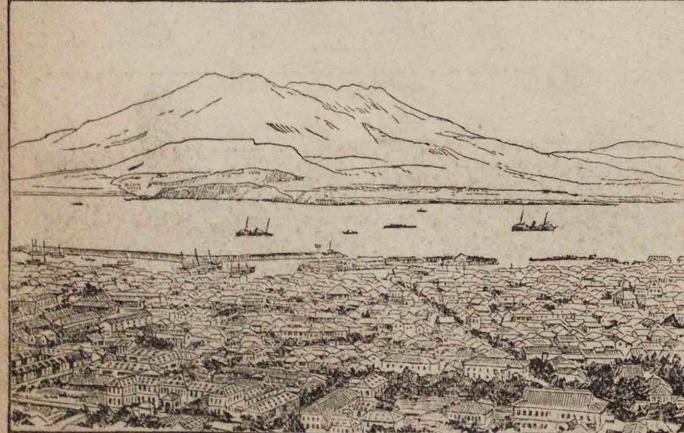


尋地一

良港がある。門司・若松・博多・長崎の諸港はいづれも國內屈指の商港であり、佐世保は重要な軍港である。

又瀬戸内海沿岸の別府灣には別府があり、南部の大隅・薩摩の二半島にかかるまれた鹿兒島灣の西岸には鹿兒島がある。有明海の沿岸は遠淺である上に潮の干満の差が大きいので、特別の設備のある

島櫻と島兒鹿



尋地一

近海の島



三池港をのぞいては沿岸に自然の良港が少ない。

近海の島々の主なものは北西の南の薩南諸島である。壹岐・對馬は九州島と朝鮮半島との間にあつて、日本海と東支那海との境になつてゐる。對馬と朝鮮半島との間には朝鮮海峡があり、對馬と壹岐との間には對馬海峡があつて、兩海峡とも交通上大切な處である。薩南諸島は琉球列島と共に一系の列島をなし、九州島と臺灣島と

の間に連なつてゐる。

三 産業

農業・林業・牧畜

九州島は氣候が暖かで米・麥・さつまいも・菜種等の農產物がたくさんとれる。殊に筑紫平野・熊本平野は米の主產地である。又筑紫平野でははぜの實・鹿兒島縣では煙草を產する。中部・南部の山地では木材が多く伐出され、處々で木炭が製造



尋地一

鑛業

較比の額産の炭石
(年三和昭) 噸萬百七千三約額產年

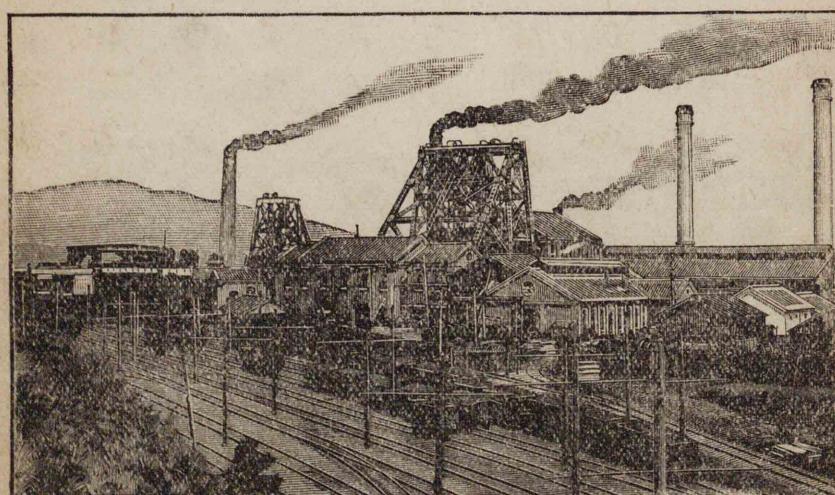
		他その縣	縣岡	福
方地の他のそ	方地道海北	方	地	州
				九

される。又九州島は一般に牛馬の飼養が行はれ、殊に阿蘇山や霧島山の裾野などでは馬の牧畜が盛である。
鑛产物の最も主なものは石炭で、これに次ぐのは金・銅である。

石炭の產額の最も多いのは福岡縣で、我が國の總產額の半ばを產してゐる。これに次ぐのは長崎・佐賀の二縣である。このやうに福岡縣で石炭の產出の多いのは、同縣の遠賀川流域に筑豊炭田、有明海沿岸に三池炭田があ

るからである。筑豊炭田から出る石炭は主として若松門司の二港から、三池炭田から出る石炭は主として三池港から、内外各地に積出される。

大分縣・鹿兒島縣は我が國での金の主產地であつて處々に金山がある。金の製鍊高の殊に多いのは大分

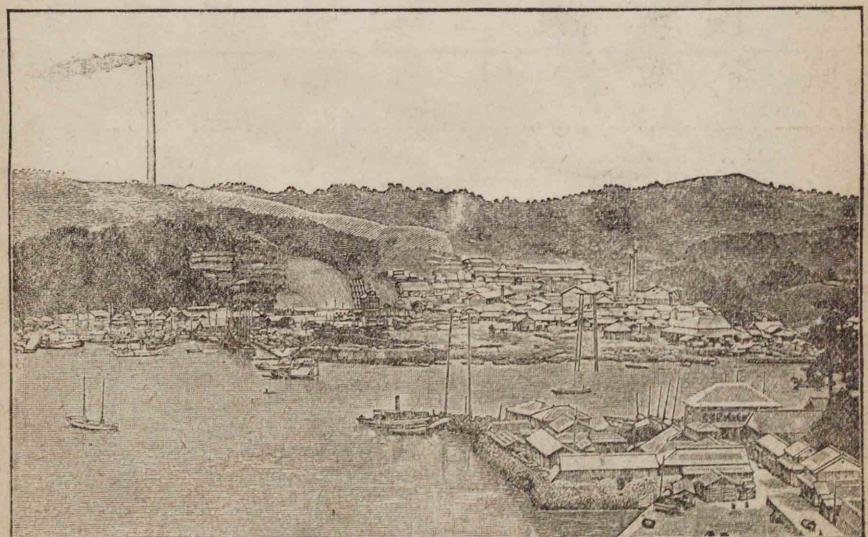


(田口萬キ) 坑炭大一の田炭池三

工業

縣の佐賀關・鯛生、鹿兒島縣の串木野である。佐賀關では銅も多く製鍊せられる。

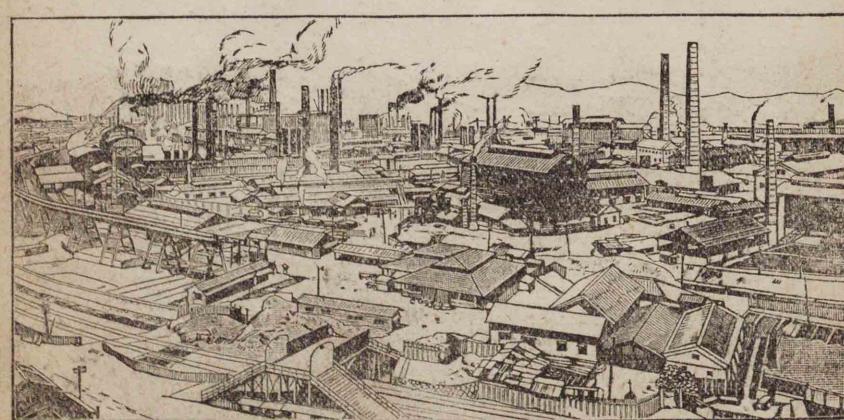
北部は海陸の交通が開けて工業原料の輸入、製品の輸出、共に便利であり、又石炭の供給が甚だたやすいから、各地に工業が發達してゐる。殊に



佐賀關製鍊所

尋地一

八幡にある製鐵所



下關海峡の沿岸から西の方、洞海の沿岸に至る一帶の地はあまたの大工場があつて、我が國の一大工業地區をなしてゐる。製品の主なものは鐵・セメント・砂糖等で、中でも鐵は主に八幡にある官設の製鐵所で製せられ、その產額は我が國の總產額の過半を占めてゐる。この製鐵所で原

水産業

料に用ひる鐵鑛は朝鮮・支那・マレー半島等から運ばれるのである。



田有あにあり陶器製造場

この外、有田の陶器、長崎の汽船、久留米の紺、熊本縣の肥料、大分縣の疊表も名高い工業品である。

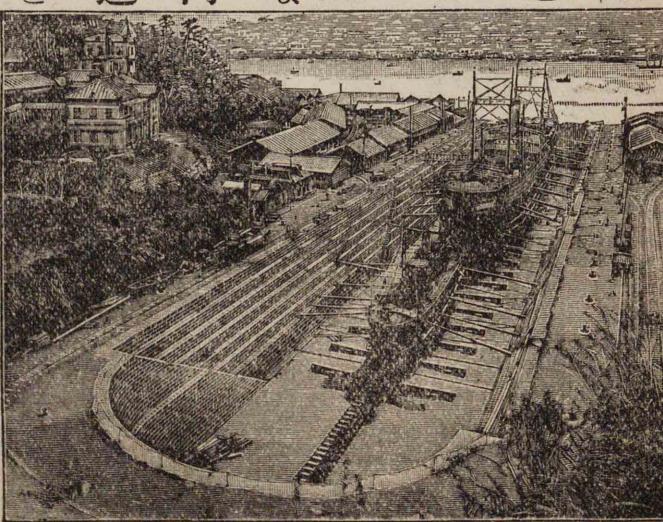
近海では一般に漁業が盛である。漁獲物の主なもの北西部の鯛・いか、南部のかつをで、いかは長崎縣で

するめに製造され、かつをは鹿児島縣でかつをぶしに製造される。

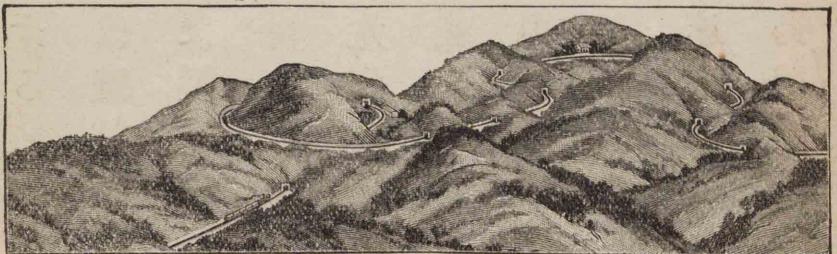
四 交通

陸上の交通

九州の鐵道は門司を主な起點として各地に通じ、門司下關間を往來する鐵道連絡船によつて山陽線と連絡する。その幹線は鹿児島線と長崎線とで、鹿児島線は西の方、小倉・福岡を過ぎ、鳥栖・熊本をへて、本



長崎にある造船所



九州山脈の横ぎる薩肥線の一

島の西海岸にそつて鹿児島に至り、長崎線は鳥栖から西の方、佐賀をへて長崎に至る。いづれも我が國に於ける鐵道の幹線の一部分である。この外、主な鐵道には東海岸地方の都會を通つてゐる日豊線、九州山脈を横ぎつてゐる肥薩線、阿蘇火山の元の火口を横ぎつてゐる豊肥線がある。鹿児島線と日豊線とは肥薩線によつて連絡され、九州島の一周線

となつて居り、豊肥線は中部の横斷線となつてゐる。

又北部の工業地區や筑豊炭田には、鹿児島線及び日豊線に連絡するあまたの鐵道があつて、陸上の交通が殊に便利である。

北西部の海岸は良港が多い上に、その位置が世界交通の要路に當つてゐるから、海上の交通は甚だ便利で、門司・若松・長崎の諸港には内外國の汽船が多く出入する。中でも門司は瀬戸内海の關門になつて居り、又石炭の供給地であるから、汽船の出入

通信

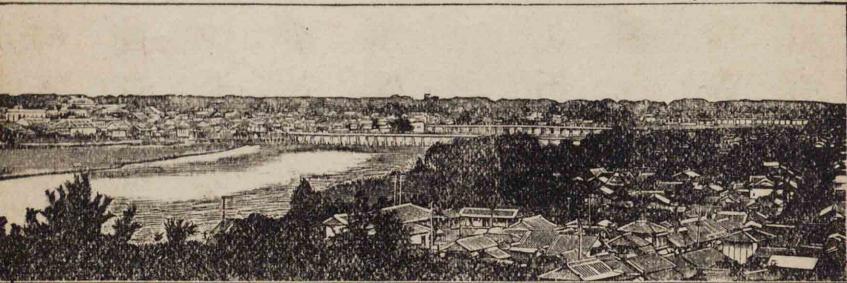
が極めてひんぱんである。

長崎・佐世保の附近からは対岸の大陸に至るいくつもの海底電線がある。中でもウラヂボストックに至るものと上海に至るものとは、共に世界電信線の幹線であつて、遠くヨーロッパ洲に通じてゐる。

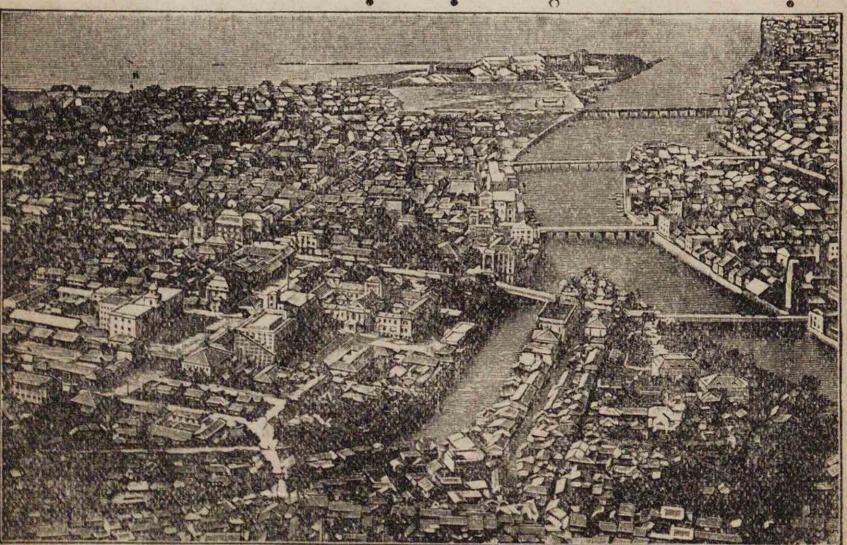
五 都邑

九州島の海岸の平地は一般に人口が密で都會が多い。中でも北部の工業地區には門司・小倉・八幡・若松等の工業市が連なつてゐる。

北部にはなほ福岡・佐賀・長崎・久留米、その他の部分



には熊本・鹿兒島・宮崎・大分別府がある。
と福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分は
いづれも縣廳の所



街 市 の 岡 福

在地である。

五

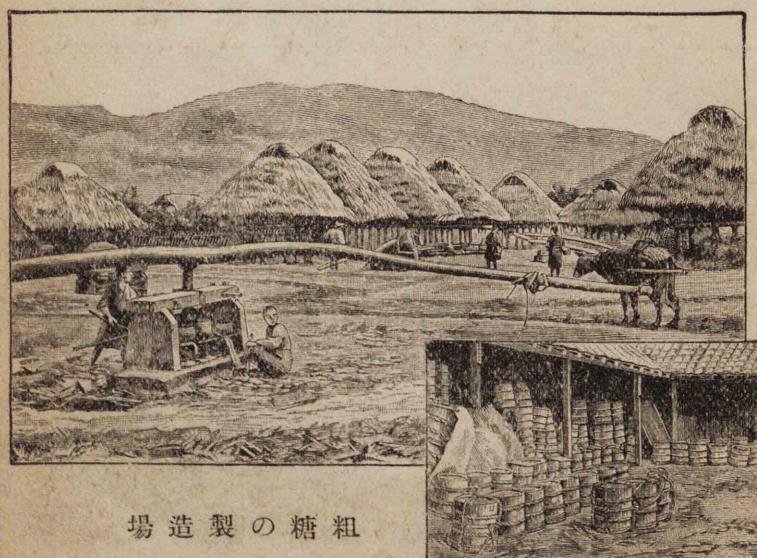
福岡は人口二十三萬、長崎と共に九州地方の二大都會であつて、商業も工業も發達してゐる。又ここに九州帝國大學がある。長崎は人口二十萬、大きい造船所のある處である。

六 薩南諸島・琉球列島

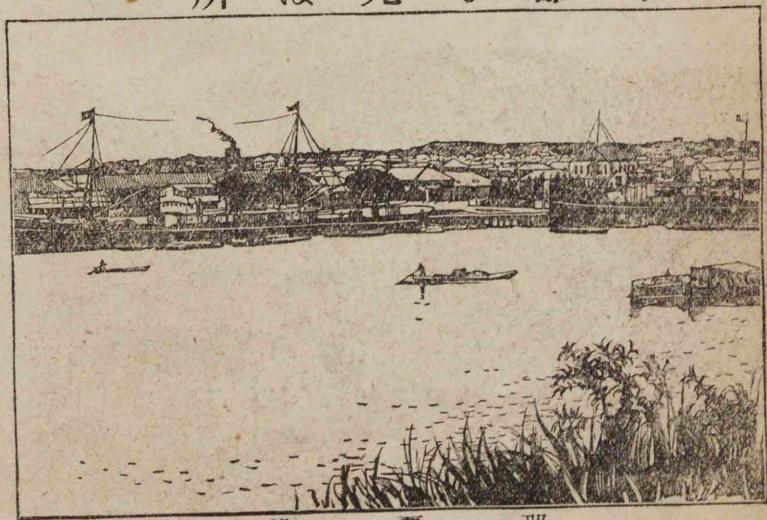
薩南諸島と琉球列島とは熱帶に近い處にあつて、

その上、近海に暖流があるので、氣候は甚だ暖かで雨が多い。地味はあまりよくないが、さつまいもやさとうきびが盛に栽培せられてゐる。粗糖の製造が盛であつて、その產額は内地第一である。なほ豚の飼養も一般に行はれてゐる。

薩南諸島の主な島は大



粗糖の製造場



那霸港

島で、琉球列島の主な島は沖繩島である。沖繩島はこれ等の島々の中、最もよく開けてゐて、那霸・首里の二都會がある。那霸は琉球列島第一の良港で、縣廳の所在地である。

尋常小學地理書卷一終

尋地一

附錄

一 關東地方

府縣名	管轄區域	所府在縣地廳	府縣名	管轄區域	所府在縣地廳
東京府	武藏國の一部分	東京市	群馬縣	上野國	前橋市
神奈川縣	伊豆七島 小笠原諸島	橫濱市	栃木縣	下野國	宇都宮市
千葉縣	武藏國の一部分 相模國	千葉市	茨城縣	常陸國	水戸市
埼玉縣	安房國 武藏國の一部分	浦和町		下總國の一部分	

附錄

二 奥羽地方

一

附錄

五 中國地方

石川縣	滋賀縣	近江國	能登國
兵庫縣	京都府	丹後國	丹波國の大部分
大阪府	攝津國の大部分	河内國	但馬國の一部分
淡路國	和泉國	奈良縣	福井縣
播磨國	大津市	大和國	若狭國
但馬國	京都府	奈良市	福井市
淡路國	神戸市	和歌山縣	越前國
播磨國	大阪市	紀伊國の大部分	福井市
但馬國	三重縣	伊勢國	石川縣
淡路國	志摩國	志摩國	金澤市
播磨國	紀伊國の一部分	和歌山市	福井縣
但馬國	津市	奈良市	滋賀縣

尋地一

三 中部地方

府縣名	管轄區域	所府在縣廳	府縣名	管轄區域	所府在縣廳
福島縣	磐城國の大部分	福島市	岩手縣	陸前國の大部分	岩代國
宮城县	陸中國の大部分	仙臺市	岩手縣	磐城國の一部份	岩代國
岩手縣	陸前國の一部份	盛岡市	福島縣	陸中國の一部份	福島市
三河國	伊豆國の大部分	名古屋市	仙臺市	秋田縣	青森縣
美濃國	尾張國	靜岡市	盛岡市	山形縣	青森縣
飛驒國	遠江國	長野縣	山梨縣	秋田縣	青森縣
岐阜縣	駿河國	富山縣	新潟縣	山形縣	陸奧國の大部分
岐阜市	名古屋市	富山縣	長野縣	秋田縣	陸中國の一部份
岐阜縣	三河國	新潟縣	長野縣	羽後國	羽前國
岐阜縣	美濃國	長野縣	山梨縣	秋田縣	陸後國の大部分
岐阜縣	飛驒國	甲斐國	信濃國	山形市	青森市
岐阜縣	越中國	甲斐國	甲斐國	秋田市	青森市
岐阜縣	佐渡國	新潟市	新潟市	山形市	山形市
岐阜縣	越後國	長野市	長野市	秋田市	秋田市
岐阜縣		甲府市	甲府市	山形市	青森市

附錄

一
三

府縣名	管轄區域	所府在縣地廳	府縣名	管轄區域	所府在縣地廳
岡山縣	備後國	岡山市	廣島縣	備中國	廣島市
山口縣	周防國	山口市	山口縣	安藝國	山口市
福岡縣	筑前國	福岡市	香川縣	阿波國	香川市
豐前國の一部分	肥筑後國	佐賀縣	高松市	德島縣	高松市
長崎縣	肥前國の一部分	那霸市	愛媛縣	德島縣	愛媛縣
宮崎縣	日向國	大分市	高知縣	伊豫國	高知市
鹿兒島縣	薩摩國	熊本縣	肥前國の一部分	土佐國	松山市
對馬國	壹岐國	琉球國	佐賀縣	肥後國	鳥取市
長崎市	肥前國の一部分	那霸市	尋地一	肥後國	松江市
宮崎市	肥前國の一部分	大分市		肥前國の一部分	鳥取市
鹿兒島市	肥前國の一部分	熊本市		肥前國の一部分	

六 四國地方

七 九州地方

鹿兒島縣	薩摩國	高知縣	伊豫國
長崎縣	大隅國	愛媛縣	德島縣
宮崎縣	肥前國の一部分	佐賀縣	高松市
鹿兒島市	肥前國の一部分	那霸市	香川縣
長崎市	肥前國の一部分	大分市	德島縣
宮崎市	肥前國の一部分	熊本縣	阿波國
鹿兒島市	肥前國の一部分	琉球國	高知縣
長崎市	肥前國の一部分	肥後國	佐賀縣
宮崎市	肥前國の一部分	肥後國	尋地一
鹿兒島市	肥前國の一部分	肥後國	

昭和六年二月廿八日翻刻印刷

尋常小學地理書卷一

は

昭和六年三月二十日翻刻發行

定價金拾貳錢

著作權所有
發著作兼
文 部 省

兼翻刻發行
東京書籍株式會社
代表者 石川正作

昭和六年二月二十三日文部省検査済

發行所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
東京書籍株式會社工場

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
東京書籍株式會社工場

鳥井

尋玉 尾崎秀惟

